

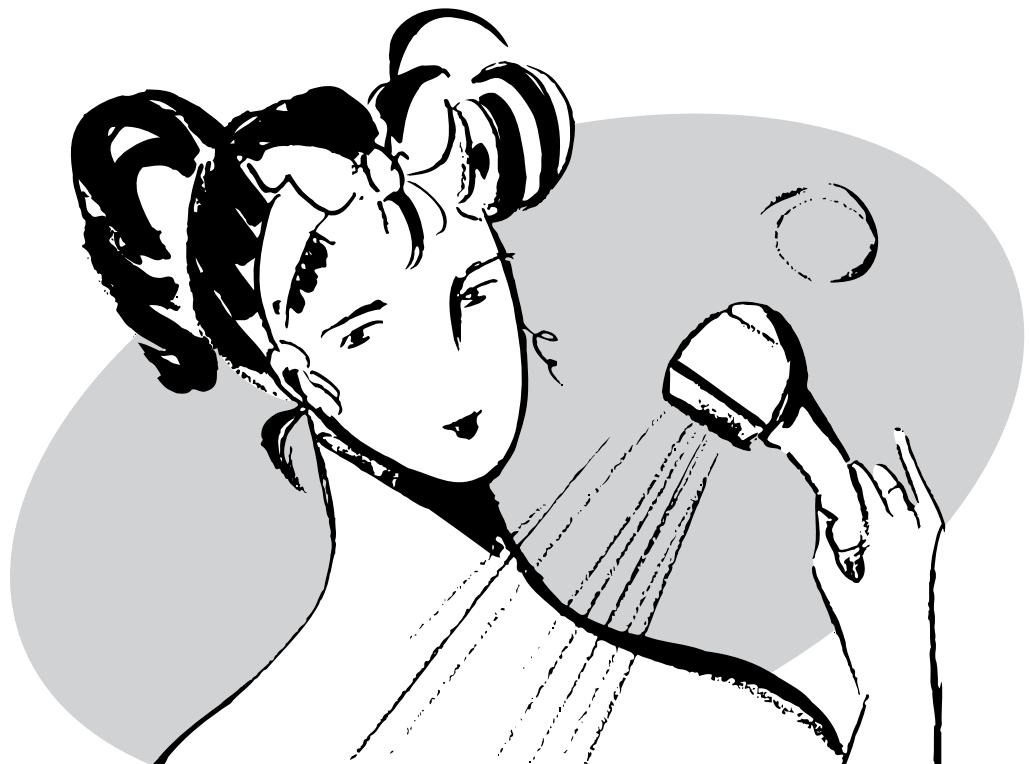
**工事店様
へのお願い**

保証書に、貴店名ならびにお取付日をご記入の上、お客様に必ずお渡しください。
また、定期的に交換が必要な部品があることをお客様に必ずお伝えください。

定期点検情報掲載

電気温水器〔時間帯別電灯対応通電制御型/深夜電力通電制御型〕 <フルオート>

CRE4615U (高圧力型)



- このたびは、電気温水器をお求めいただき、まことにありがとうございました。
- ご使用前にこの説明書と保証書をお読みの上、正しくお使いください。
- この取扱説明書と保証書は大切に保管し、わからないときは読みかえしてください。

CRE4615Uは高圧力型電気温水器です。

『労働安全衛生法施行令』が平成10年12月に改正され、小型ボイラーの規制が見直しされることにより、今までの電気温水器の最高使用圧力が変更され100kPaから200kPaまでの使用が認められました。これにより階上への給湯及びシャワーの使い勝手が向上され、より利便性の高い商品となりました。ただし、一般家庭以外(事業所等)でご使用の際には改正に伴い諸条件が義務付けられています。詳しくは、61・62ページをご覧ください。

ご使用の前に

使
用
方
法

点検・お手入れ他

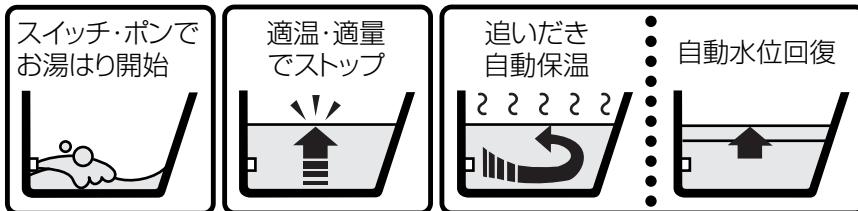
はじめに

■ワンタッチお湯はり



を押すだけで、自動的にお湯はり。(☞ 21~24ページ)

お湯はりが終われば、保温(0~6時間の間で設定)を行います。(☞ 26ページ)

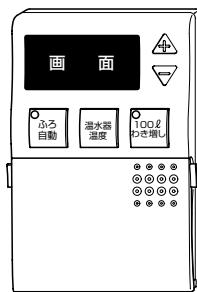
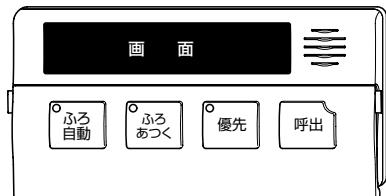


■リモコンについて



音声ガイド

操作の内容を音声やメロディでお知らせします。
お湯はりが終わったとき、誤った操作をしたとき、注意を呼びかけたいときなどに音声によってお知らせします。



■お湯は大切に

- 1日に使用できるお湯の量は限られています。
お湯は大切にお使いください。
特に冬季は水温が低くなり、ムダな使い方をします
と湯量不足になり、お湯が使えなくなります。(時間
帯別電灯契約にてご使用の場合は昼間のわき増し
も可能です。わき増しの方法は 31ページ「お湯
をたくさん使う(わき増しする)」をご参照ください。)
- 流し洗いはお湯のムダ使いになります。
お湯は容器に受けて使うとムダがなくなります。

- 入浴は、できるだけ深夜通電時間帯(午後
11時~午前7時…地域により一部異なりま
す)を避けて入浴してください。
深夜通電時間帯にお湯を使うと翌日の湯温
が低くなり、湯量不足になる場合があります。
- 浴槽には冷めやすいものもあります。
入浴後はふたをしてください。

選べる電力契約

この温水器は「時間帯別電灯契約」と「深夜電力契約」のどちらの契約でも使用できます。詳しくは最寄りの電力会社にお問い合わせください。ただし、「深夜電力契約」には深夜電力契約対応キット(別売品:CRHE572)が必要です。

[時間帯別電灯契約]

ご家庭のすべての電気製品に適用される電力契約。昼間の料金は通常より若干高くなりますが、昼間でもわき増しができるため湯切れの心配がありません。夜間の料金は深夜電力並(昼間の約1/3)ですので夜に電気をたくさん使うご家庭に最適です。

[深夜電力契約]

電気温水器等の蓄熱機器にのみ適用される電力契約。翌日使用するお湯を午後11時~午前7時(一部の地域では異なります。)の間にわかしてためておきます。料金は昼間料金の約1/3です。

(注)工場出荷時は時間帯別電灯契約用の設定になっていますので、深夜電力契約でご使用される場合は深夜電力契約対応キット(別売品:CRHE572)と温水器の設定変更が必要です。

もくじ

●特に注意していただきたいこと	1
●各部のなまえとはたらき	7
●本体外観図	7
●本体内観図及び周辺図	8
●浴室リモコン	9
●台所リモコン	11
●使用前の準備	13

●時計を合わせる	15
●お湯を使う	17
●おふろでの便利な機能	19
●浴室リモコンを操作させたくないとき	20
●お湯はりをするには	21
●おふろでの操作	25
●おふろがぬるいとき	25
●おふろのお湯が少ないとき	25
●おふろが熱いとき	25
●保温時間を変更したいとき	26
●浴室から人を呼びたいとき	26
●入浴予約をする	27
●わき上げ温度設定のしかた	29
●お湯をたくさん使う	31
●運転を休止する	32
●音声ガイドを消したいとき	33
●画面表示を消したいとき	34
●温水器のお湯の量を確認する	35
●わき増し予報表示について	35
●そのほかにリモコンでできること	36
●浴室リモコンの設定変更	37
●台所リモコンの設定変更	39

●凍結による破損を予防するには	41
●こんなときは	43
●断水のときなどにお湯を取り出す	44
●定期的な点検	45
●日常のお手入れ	46
●故障かな?と思ったら	51
●定期的な部品交換のお願い	57
●アフターサービス	58
●仕様	59
●事業者様へのご案内	61

ご使用の前に

使用方法

点検・お手入れ他

◆特に注意していただきたいこと◆

〈安全に正しくお使いいただきるために〉

この取扱説明書では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告:

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。



注意:

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示については、つぎのような意味があります。

絵表示	意味	絵表示	意味
	一般的な禁止		感電注意
	分解禁止		必ず実行
	接触禁止		高温注意
	アース工事		



警 告

■やけどに注意

- シャワーを浴びるときは、指先等で温度を確かめてから。

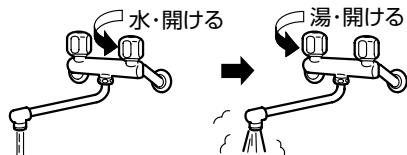
(湯温を確認せずにシャワーを浴びるとやけどのおそれがあります。)

指先等で温度をたしかめて!



高温注意

- お湯を使うときは、まず水から。



必ず実行

- 使用後は必ず湯側から閉めてください。

(水側を先に閉めると、再使用時に熱湯が出てやけどをするおそれがあります。)



必ず実行

- 浴槽にお湯がないときは、浴槽に入つてリモコン操作をしないでください。

浴槽にお湯がないときにリモコン操作をすると、循環アダプタから熱いお湯が出ることがあります。浴槽や循環アダプタのお手入れを行うときは特に注意してください。

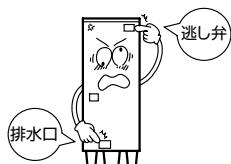
(やけどのおそれがあります。)



禁止

- 逃し弁の動作確認時は、逃し弁・排水口に手を触れないでください。

(やけどのおそれがあります。)



接触禁止

- タンク内の熱湯を直接排水しないでください。

(やけどや排水管が熱で変形するおそれがあります。)



禁止

特に注意していただきたいこと



警 告

■シャワー・給湯の使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない

(突然、熱湯が出てやけどしたり、冷水が出てビックリすることがあります)



禁止

■機器の設置(及び付帯工事)

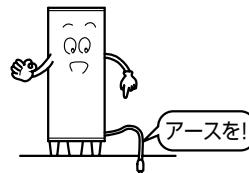
機器の設置・移動及び付帯工事はお買い上げの販売店または工事店に依頼し、安全な位置に正しく設置して使用してください。

(設置工事に不備があると事故の原因になります)

■アース工事を確認する

アース工事がされているか確認してください。

(故障、漏電のときに感電の原因になります)

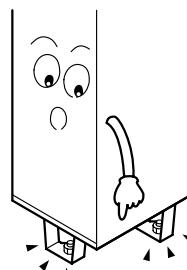


アース工事

■本体が固定されているか確認する

本体の脚がアンカーボルトで固定されているか、また、本体上部が上部振れ止め金具で壁に固定されているか確認してください。

(本体が倒れてけがをするおそれがあります)



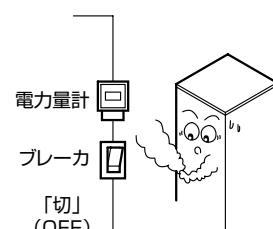
必ず実行

■異常時の注意

エラー発生時や異常時(こげ臭い、循環アダプタからの蒸気吹出し、本体及び配管部分からの水漏れなど)はブレーカーのレバーを「切」(OFF)にして止水栓を閉じ、お取付け店に連絡してください。

また、高温の湯が出るおそれもあり危険ですので、お湯の使用・入浴を中止してください。

停電時についても、タンク内の高温のお湯が出るおそれがあるので注意してください。



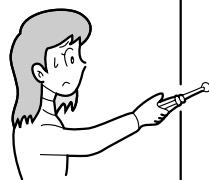
必ず実行



警 告

■分解・改造しない

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
(故障、感電の原因になります)



分解禁止

■近くにガス・灯油類や引火物を置かない

電気温水器の近くにガス、灯油類や引火物を置かないでください。
(発火、火災の原因になります)



禁止



注 意

■みだりに飲用はしない

長時間たまっていたお湯は飲料用に用いないでください。
(水質の変化により下痢、腹痛などを起こす場合があります)



禁止

■水道水以外は使用しない

(井戸水等を使用すると腐食等により漏水するおそれがあります)



禁止

■逃し弁レバーを開き(レバーを上げる)、排水口より水が出ることを確認してから、専用配線用遮断器および配線用遮断器、温水器の電源スイッチを「入」にする。

(☞13・14ページ参照)

(ヒータが空だきとなり故障の原因となります。)



必ず実行

特に注意していただきたいこと



注 意

■温水器や台所リモコンが浴室などの湿気の多いところに取付けられていないか確認する

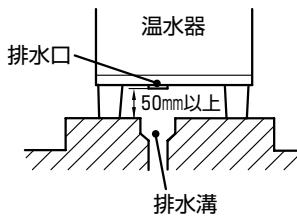
(火災、感電の原因になります)



必ず実行

■排水口は、排水溝より50mm以上離れているか確認する

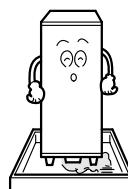
(排水が逆流するおそれがあります)



必ず実行

■床面が防水処理・排水処理されているか確認する

(水漏れが起きた場合、大きな被害の原因になります)



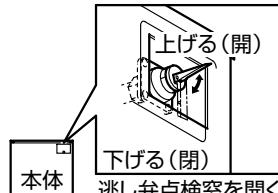
必ず実行

■逃し弁を点検する

必ず月に1回逃し弁の点検をしてください。

(☞ 45ページ)

(逃し弁が作動しないと、タンクや配管に異常な圧力がかかり破損の原因となります)



必ず実行

■減圧弁・逃し弁は必ず定期的に交換する

(☞ 57ページ参照)

(劣化により機能の低下や水漏れする可能性があり、大きな被害を与えることがあります)



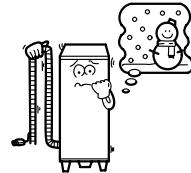
必ず実行



注 意

■凍結予防対策を確認する

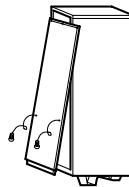
(凍結すると配管などが破裂するおそれがあります)
 (☞ 41ページ)



必ず実行

■前面カバーは絶対に開けない

(ショート、感電のおそれがあります)



禁止

お願い

■入浴剤や洗剤についての注意

- 強酸、強アルカリの洗剤及び、硫黄、酸を含んだ入浴剤は、機器の性能低下や熱交換器等の腐食原因となる場合があります。
入浴剤の説明文及び含有成分等を十分確かめ、機器への悪影響がないものをご使用ください。
- 乳白色や白濁する入浴剤のなかには、フィルターやお湯の通路にたまつて動作不良を起すものがあります。このような入浴剤は、ご使用を避けてください。
- 薬草やゆずを入れたり、薬草入り入浴剤を入れた場合は、薬草などがフィルターや機器内部につまつて故障の原因になります。

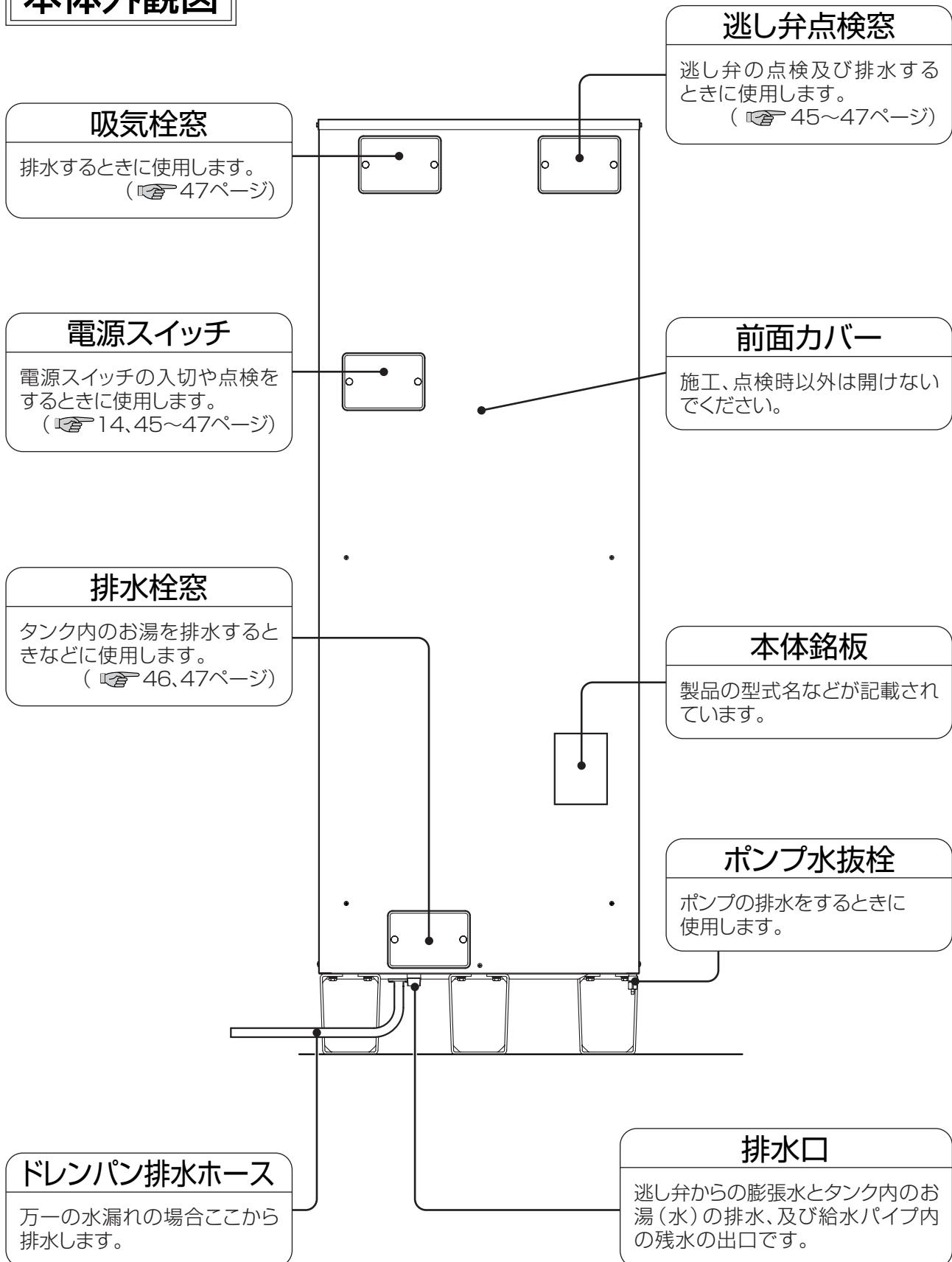
■入浴時の注意

- 浴槽の循環アダプタをタオルでふさがないでください。
(循環不良となり、ふろのわかし上げができなくなります)
- 追いだき中や追いだき後は、浴槽上部と下部での温度差ができるため、十分かきませ、手で湯温を確認してから入浴してください。
(やけどのおそれがあります)

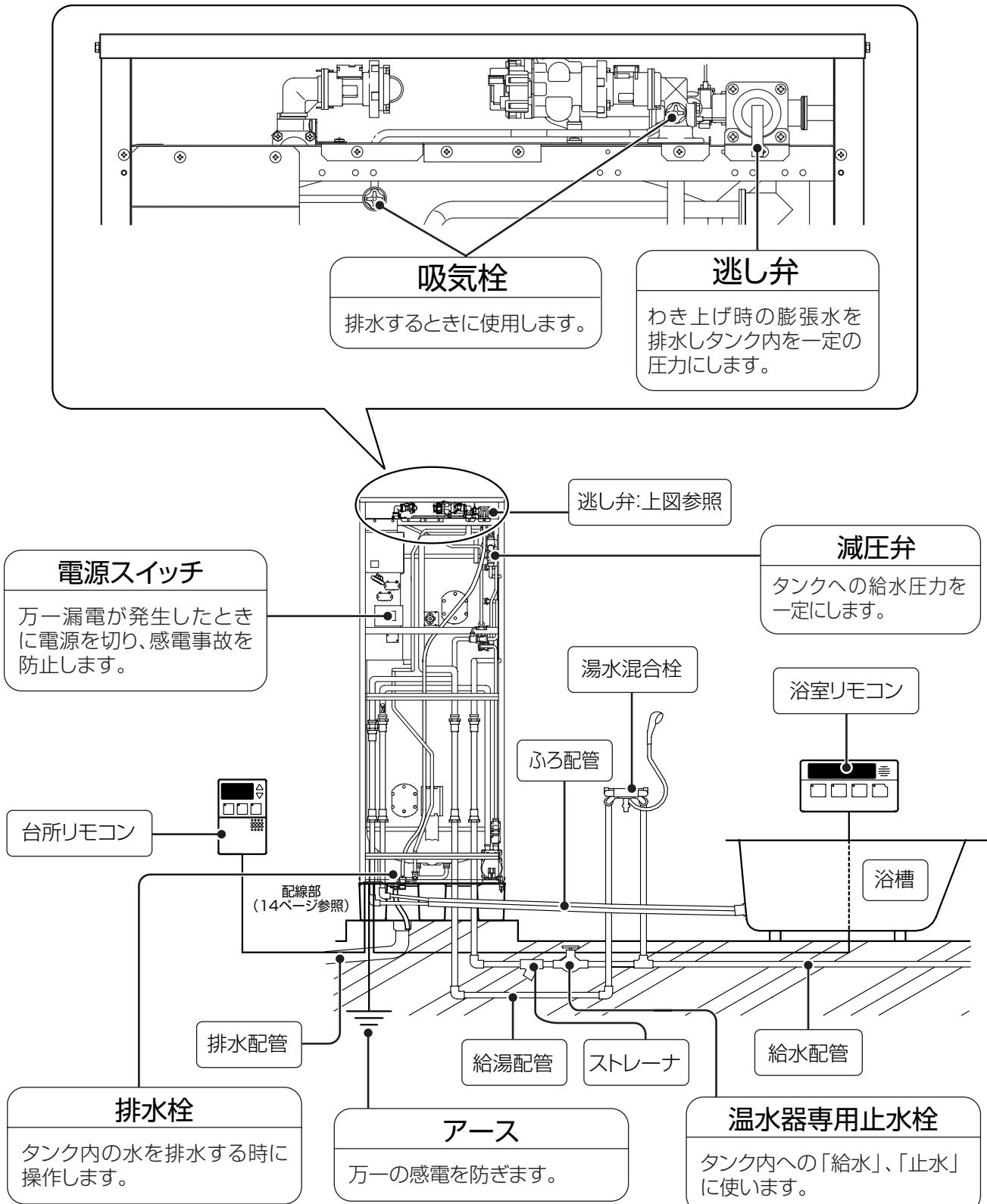
各部のなまえとはたらき

快適なお湯ライフのため、各部のなまえとはたらきを確認され、上手にお使いください。

本体外観図



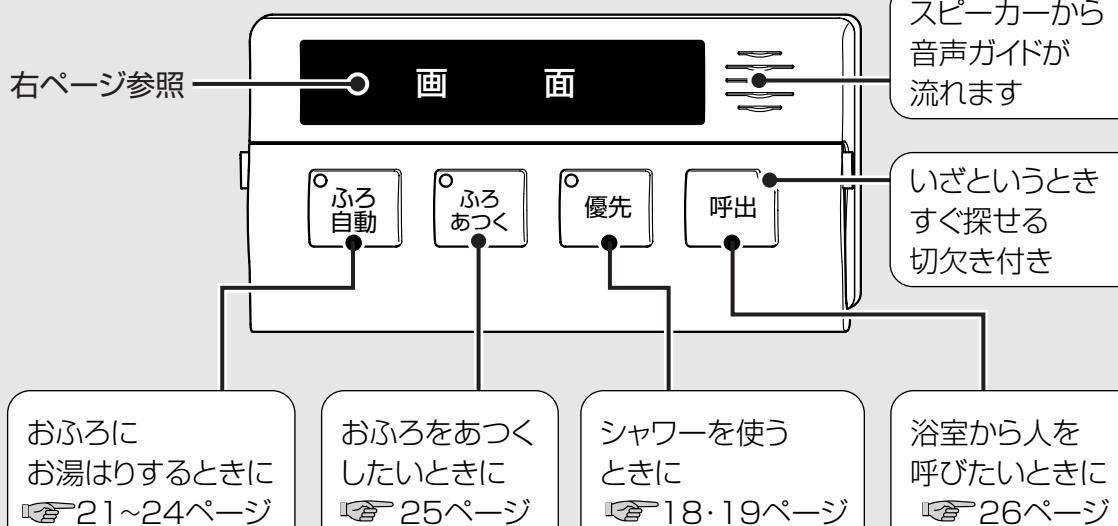
本体内観図及び周辺図



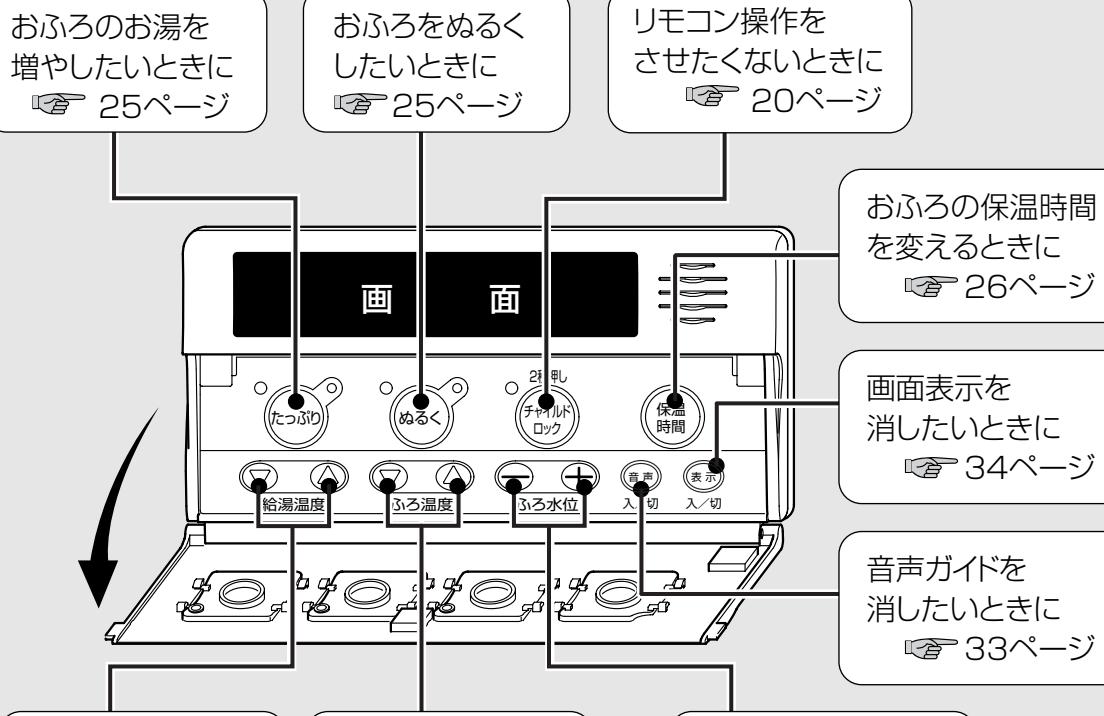
各部のなまえとはたらき

浴室リモコン(CRAC133F)

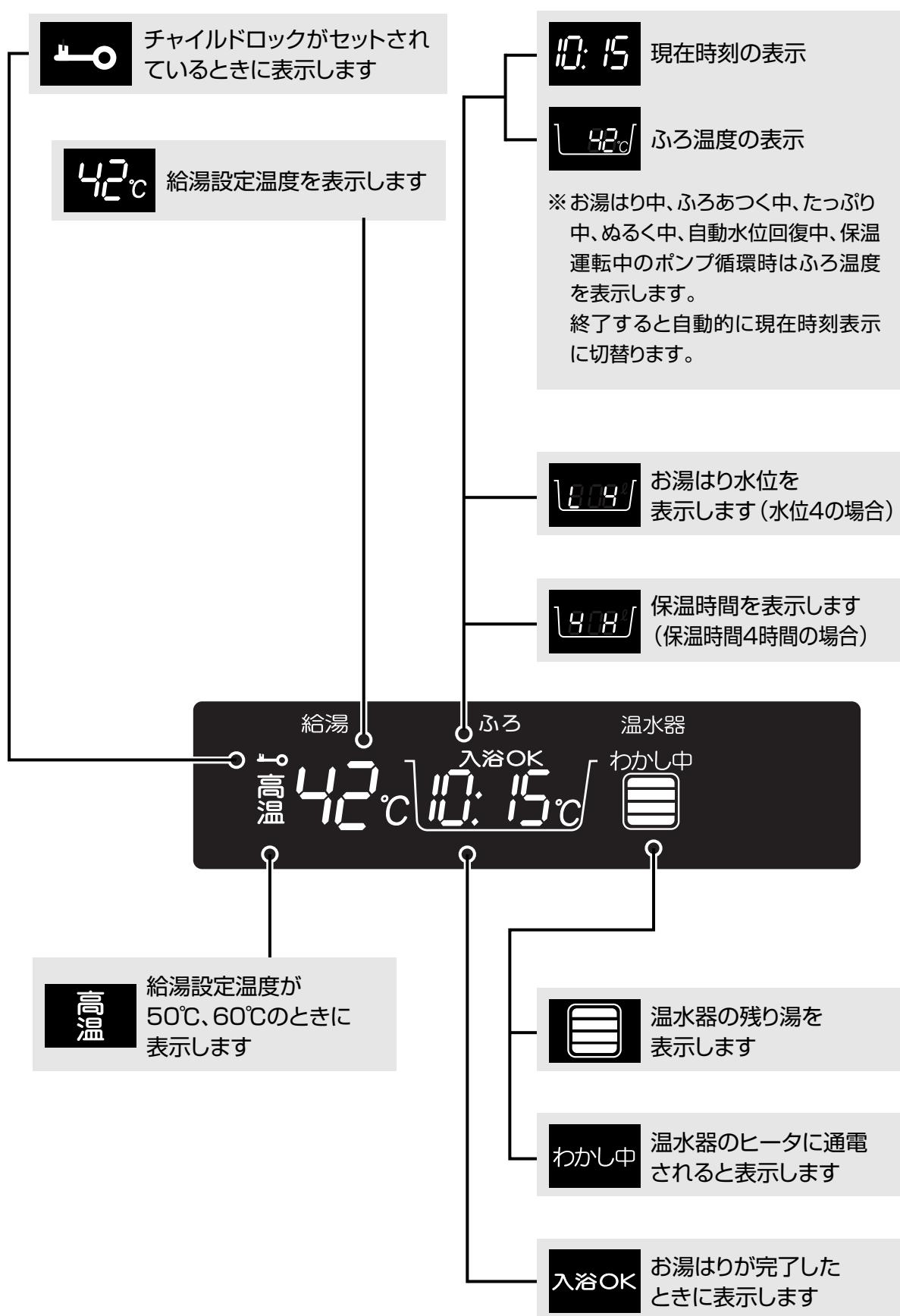
ふたを閉めたとき



ふたを開けたとき



表示画面例



各部のなまえとはたらき

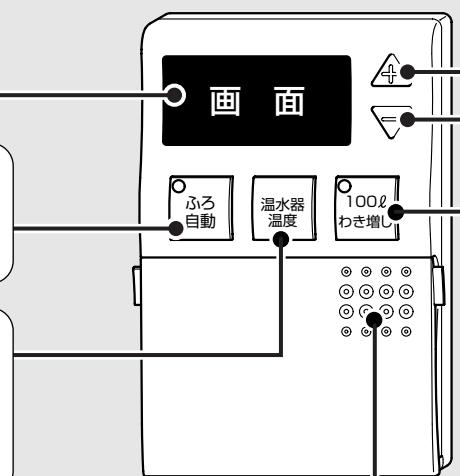
台所リモコン(CRAC133K)

ふたを閉めたとき

右ページ参照

おふろに
お湯はりするときに
 21~24ページ

温水器のわき上げ
温度を
合わせるときに
 29・30ページ



給湯温度を
合わせるときに
 17・18ページ

その他の設定を
合わせるときに

* 昼間に温水器の
お湯を約100ℓだけ
わき増したいとき
 31ページ

* 時間帯別電灯契約のみ

スピーカーから
音声ガイドが
流れます

ふたを開けたとき

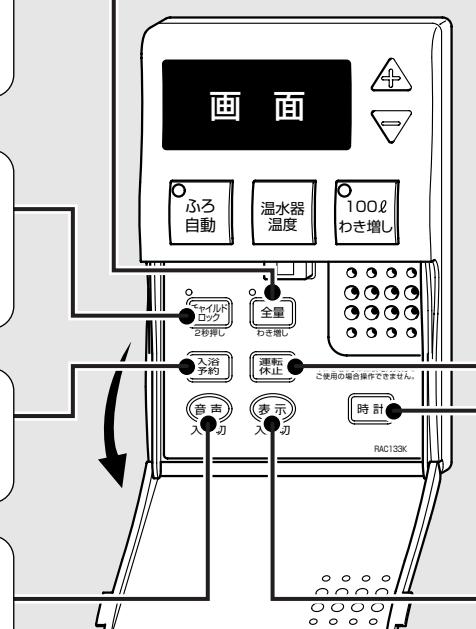
* 昼間に温水器の
お湯を全量わき増し
したいときに
 31ページ

* 時間帯別電灯契約のみ

浴室リモコンを
操作させたくない
ときに
 20ページ

入浴予約をセット
するときに
 27・28ページ

台所リモコンの
音声ガイドを
入切したいときに
 33ページ

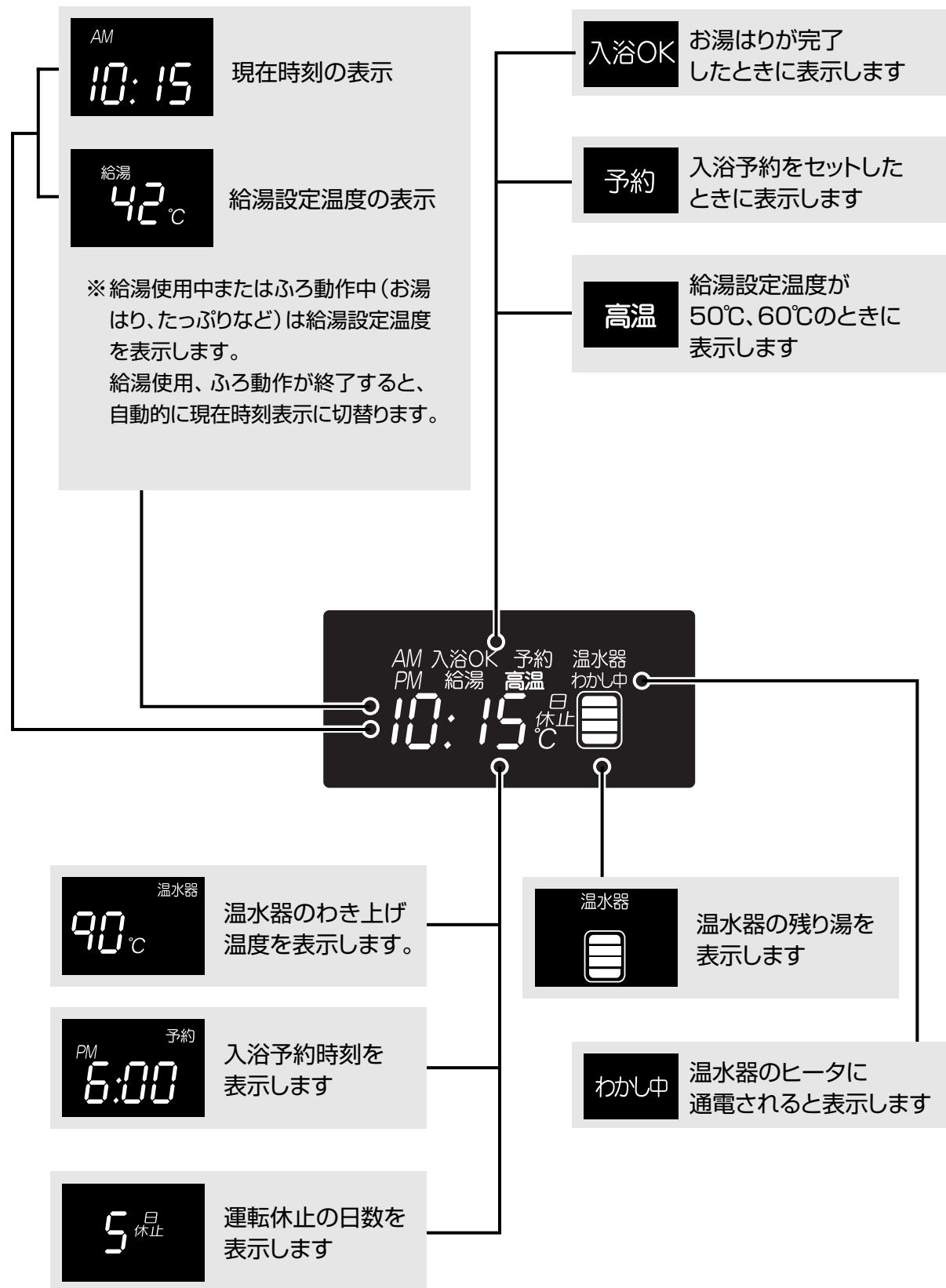


14日以内の運転を
休止するとき
 32ページ

現在時刻を
合わせるときに
 15・16ページ

台所リモコンの
画面表示を
入切したいときに
 34ページ

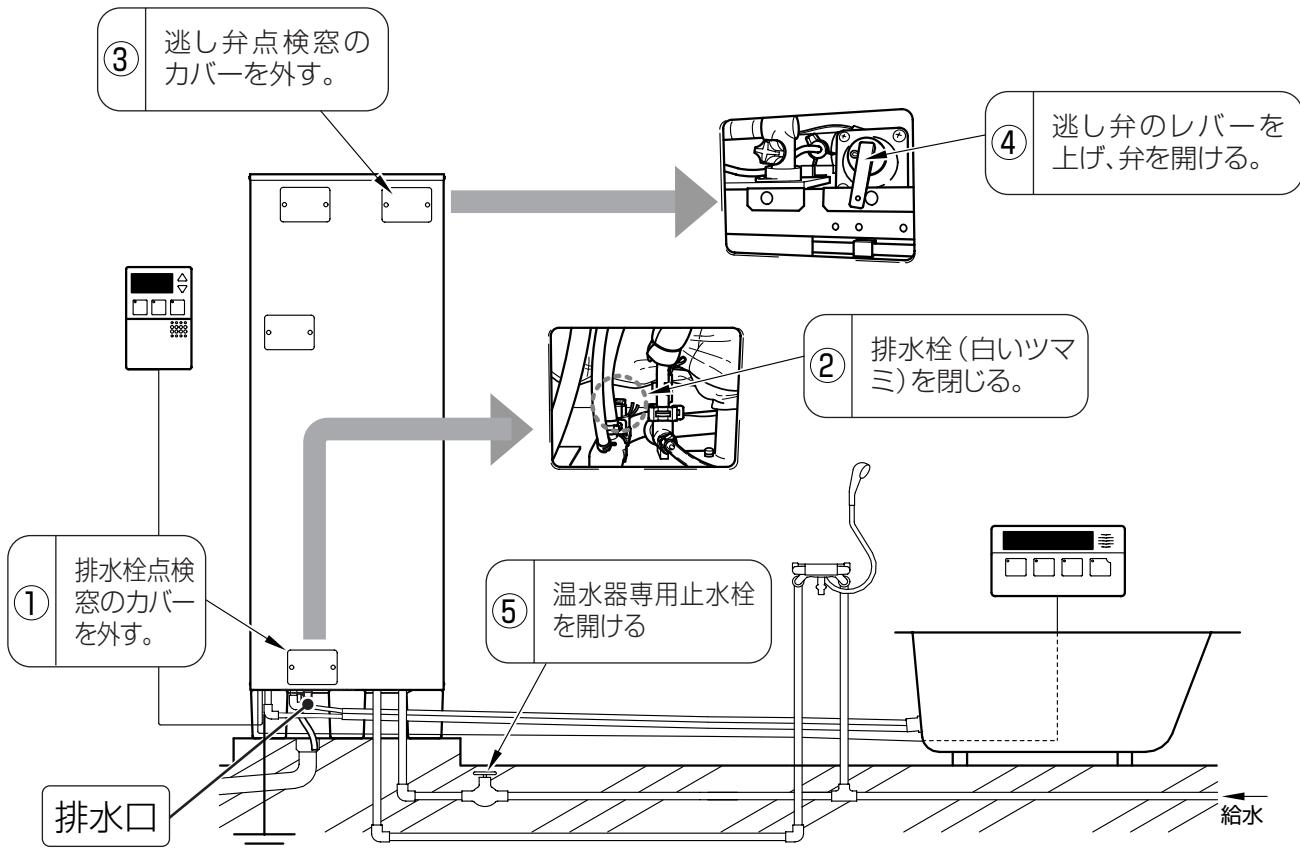
表示画面例



使用前の準備

最初の給水のしかた

- ① 下部の排水栓点検窓を外します。
- ② 排水栓が閉まっていることを確認します。(開いているときは、閉めてください。)
- ③ 上部の逃し弁点検窓を外します。
- ④ 逃し弁のレバーを上げます。(弁を開けます。)
- ⑤ 温水器専用止水栓を開きます。
排水口(逃し弁チューブ)から勢い良く水が出てきたら、タンクが満水になっているので、逃し弁のレバーを下げます。(弁を閉じます。)
- ⑥ ①で外した上部の逃し弁点検窓、下部の排水栓点検窓を取り付けます。
注) 給水中は湯水混合栓の湯側を必ず閉じてください。



ちょっと一言

- 温水器専用止水栓を開いてすぐに水が出てきても、配管の中の残水がでてきた可能性がありますのでしばらく給水してください。
- 最初は、タンクや配管内のゴミ・油などを流すため、満水になつたら一度、全部排水し再び給水してください。
(排水のしかた、再給水のしかたは、47~49ページを参照してください。)

わき上げのしかた

- 7・8ページの「各部のなまえとはたらき」を参照のうえ、操作してください。
- ① タンクが満水になっていることを確認した後、ブレーカー(配線用遮断器)を「入」(ON)にします。
 - ② 本体の電源スイッチを「入」(ON)にします。
※深夜電力契約の場合は、電源スイッチが2つあります。2つとも「入」にします。
 - ③ リモコンの時計を合わせます。
※必ず時刻を正確に合わせてください。(☞ 15ページ)
 - ④ 夜間の通電時間になると自動的にわき上げを開始します。
※水温15°Cで90°Cまでわかし上げる場合、約8~8.5時間かかります。
(水温が低いと長くかかります。)

!**注意**

- 逃し弁を開き(レバーを上げる)、排水口より
水が出ることを確認し、電源スイッチを「入」にする。
(ヒーターが空だきとなり故障の原因となります)



必ず実行

ちょっと一言

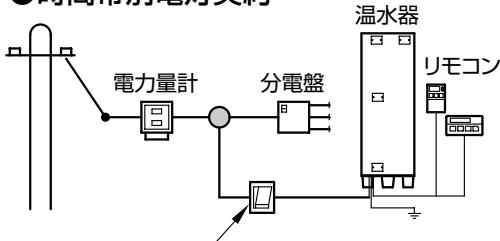
- 時間帯別電灯契約でご使用の場合は、リモコンの時計の時刻をもとにわき上げを行います。
必ず正確に時計を現在時刻に合わせてください。(☞ 15ページ)
- わき上げ時間帯は午後11時～午前7時までです。(地域により一部異なります。)
- わき上げすると排水口から膨張水が出ますが、異常ではありません。

*配線は電力契約で異なります。

電力契約については、お取付け店(販売店)にご確認ください。

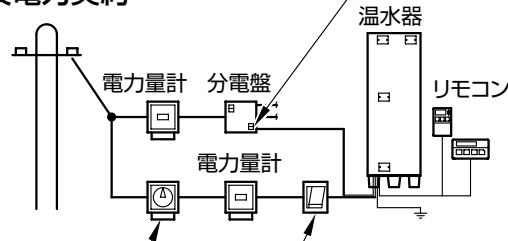
配線例

●時間帯別電灯契約



ブレーカー(配線用遮断器)
200V電源の「入」、「切」をします。

●深夜電力契約



ブレーカー(配線用遮断器)
(屋間電力使用によるリモコン用)
200V電源の「入」、「切」をします。

タイムスイッチ
深夜電力電源200V
の供給を自動的に「入」、
「切」します。

ブレーカー(配線用遮断器)
200V電源の「入」、「切」をします。
※別途、深夜電力契約対応キット(別売品:
CRHE572)が必要です。

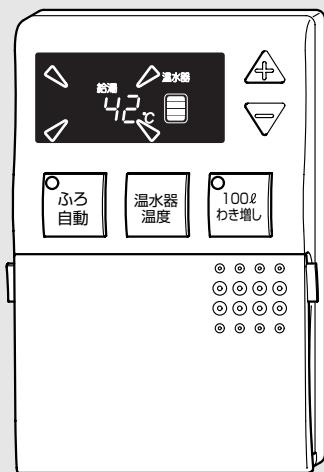
時計を合わせる(台所リモコンで操作)

- 必ず時計の時刻を正確に合わせてください。

時刻を合わせていないとタンクのお湯がわき上がらないことがあります。

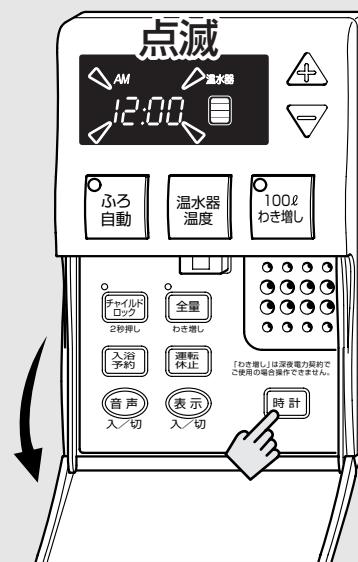
例) 午前10時15分に合わせる場合

1 ブレーカ及び本体の漏電遮断器(電源スイッチ)を「入」(ON)にする



※温度を表示しています。

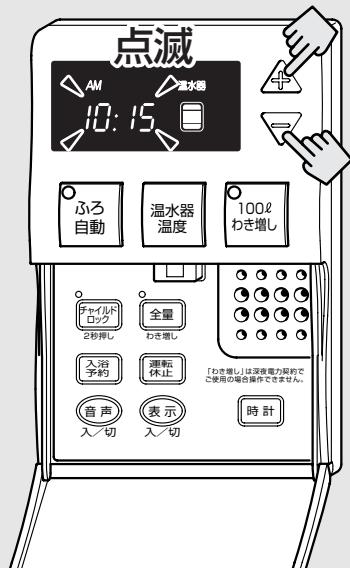
2 リモコンのふたを開ける [時計] スイッチを押す



ちょっと一言

- 時刻が合っていないと、電気料金が割高になる場合があります。
AM(午前)、PM(午後)を間違えないように合わせてください。また、時計を月一回程度確認してください。
- 深夜電力契約の場合は、時計を設定しなくても深夜のわき上げができます。

3 スイッチを押し 現在時刻に合わせる

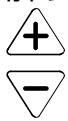


4 再度 スイッチを押す



スイッチは

- 1回押すと



- 1分単位ですすみます
- 1分単位でもどります

- 押したままにすると



- 30分単位ですすみます
- 30分単位でもどります

※約25秒間操作されないと時刻が
確定されます。

お湯を使う

お湯を使う前に

お湯を使うときはリモコンで設定温度の確認をしてください。

⚠️ 警告

やけどに注意

- ・給湯時は湯水混合栓に手を触れないでください。
(やけどのおそれがあります。)



接触禁止

- ・シャワーを浴びるときは、指先等で温度を確かめてから。

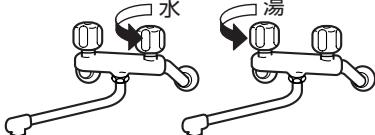


温度を
たしかめて!



- ・お湯を出すときはまず水から

- ①水側を開ける ②湯側を開ける



高温注意

- ・お湯を止めるときは湯側から
使用後は必ず湯側から閉めてください。
(水側を先に閉めると、再使用時に熱湯が出てやけどをするおそれがあります。)



高温注意

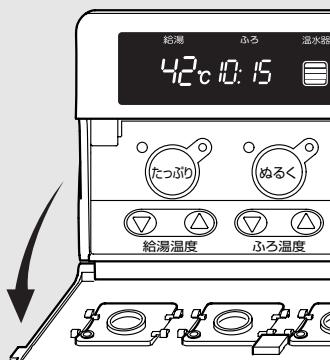
お湯を使うには

リモコンで給湯温度を約35~50・60°Cに調節できます。

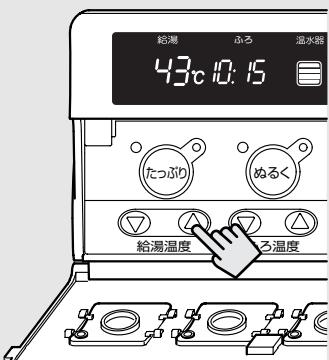
浴室リモコン

例) 給湯温度を43°Cに設定する場合

1 リモコンのふたを開ける



2 給湯温度を合わせる

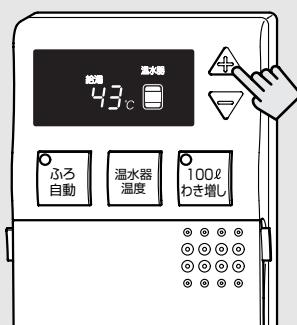


※最初は42°Cに設定されています。

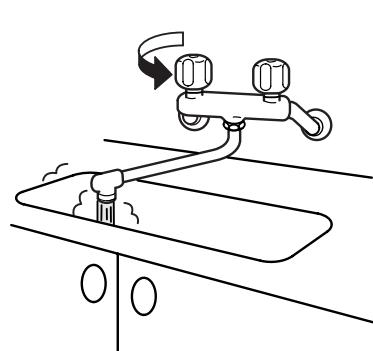
台所リモコン

例) 給湯温度を43°Cに設定する場合

1 給湯温度を合わせる



2 給湯栓を開ける



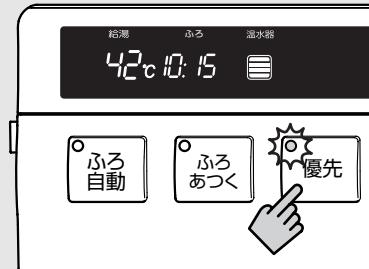
- ・時計を表示しているときは△・▽を押すと給湯温度を表示します。
- ・給湯温度を表示しているときに△・▽スイッチを押してください。
- ・温度が変わらないときは浴室リモコンの優先スイッチを切ってから再度操作してください。

※画面に表示している給湯温度と給湯栓から出る湯温は、季節及び外気温、施工状態などにより、必ずしも一致しません。目安としてお使いください。
※給湯栓を開けたとき、給湯配管内の冷水が出てしまうまでご希望のお湯は得られませんが、しばらくすると安定した湯温になります。

温度が変わらないとき

優先スイッチを押す

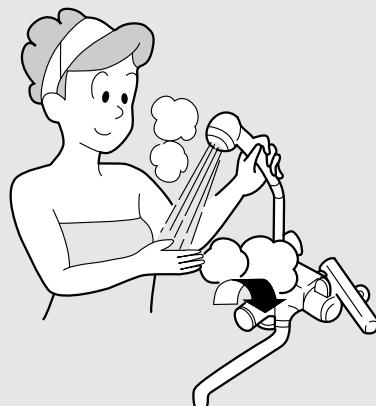
(19ページ参照)



※優先スイッチが「切」のときは
変更できません。

3 給湯栓を開ける

※下記の「お湯の出しかた」
を参照ください。



高温警告について

- ・給湯設定温度を50°C又は60°Cに設定した場合は、やけど注意のためブザーがピッピッと鳴り、「給湯温度が高温です 注意してください」と音声でガイドします。

お湯の出しかた

2バルブ混合栓の場合

2バルブ混合栓の場合、まず水側を開けた後に、湯側を開けて温度を調整してください。

①水側を開ける



②湯側を開ける



①水側に回す



②湯側に回す

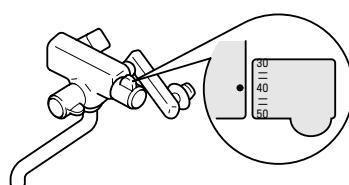


シングルレバー混合栓の場合

シングルレバー混合栓の場合は、温度調節レバーを水側にして、吐水しながらお湯側にレバーを回し、温度を調節してください。

サーモスタッフ付混合栓の場合

サーモスタッフ付混合栓の場合は温度調節ハンドルを適温(約40°C)付近にしてお湯を出してください。



優先とは

- 浴室リモコンが優先となっているときは、スイッチのランプが点灯しています。その場合は浴室リモコンで給湯温度が変更できます。
- 台所リモコンで給湯温度を変更するときは、浴室リモコンのスイッチを押し台所リモコンを優先にしてください。
- 台所リモコンが優先となっているときは、浴室リモコンのスイッチのランプが消灯しています。

優先スイッチとは

- シャワーを浴びているときに台所リモコンでお湯の設定温度を高くされると、やけどのおそれがあり大変危険です。そのため、浴室リモコンにはスイッチがついています。このスイッチを「入」にしておくと、台所リモコンで温度の変更ができなくなります。
- スイッチは安全のためのスイッチです。シャワーを浴びるときは必ずスイッチを「入」にしておいてください。

おふろでの便利な機能

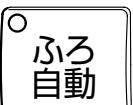


チャイルドロック

浴室リモコンでのスイッチ操作ができなくなります。

 20ページへ

お子様だけの入浴で心配なときにお使いください。



ふろ自動

自動お湯はり+水位回復

 21~24ページへ

設定したおふろの温度・おふろの水位まで自動的にお湯はりを行います。その後、設定した時間まで保温します。

また、おふろの水位が減ると自動的にお湯はりをし、水位を回復します。

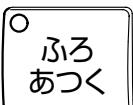


たっぷり

設定した温度のお湯をおふろに約20ℓ たします。

 25ページへ

入浴中にお湯を増やしたいときにお使いください。



ふろあつく

設定したおふろの温度より約2℃高くなるまで
わかし上げます。

 25ページへ

入浴中におふろの温度をあつくしたいときにお使いください。



ぬるく

おふろに約10ℓさし水します。

25ページへ

入浴中におふろをぬるくしたいときにお使いください。

呼出

呼出

浴室リモコンの呼出スイッチを押すと台所リモコンがピーピピピッピと鳴ったあと、「おふろで呼んでいます」と音声が流れ、さらに呼び出している間、すべてのランプが同時に点滅してお知らせします。

26ページへ

浴室に人を呼びたいときにお使いください。

保温時間

保温時間

お湯はり後の保温時間を0~6時間(7段階)に調節できます。(初期設定は4時間) 26ページへ

お湯はり後の保温時間を変更したいときにお使いください。

入浴予約

入浴予約

台所リモコンで設定した時刻にお湯はりが終わり、その後、設定した時間まで保温します。

27・28ページへ

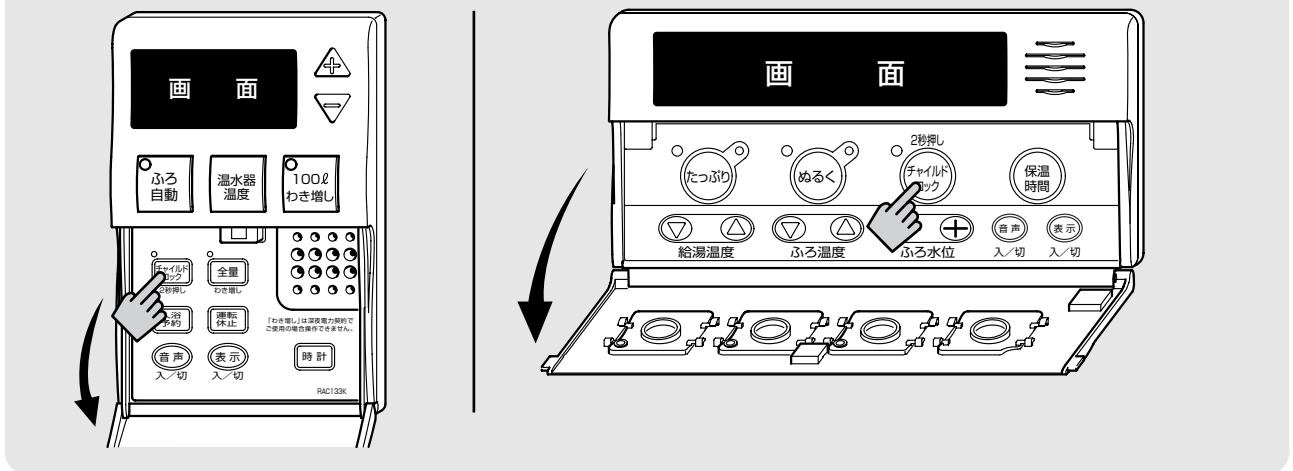
外出から帰ってきて、すぐおふろに入りたいときにお使いください。

浴室リモコンを操作させたくないとき

チャイルドロックスイッチを「入」にすることにより、浴室リモコンでのスイッチ操作をできなくすることができます。(安全のため スイッチのみ操作可能にしています。) お子様だけの入浴で心配なときにお使いください。

台所リモコン

浴室リモコン



お湯はりをするには

お湯はりする前に

1. 浴槽の水は完全に排水してください。

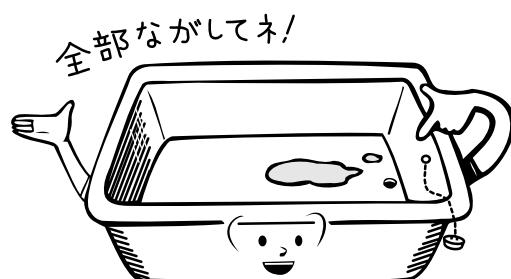
設置後はじめてお湯はりするとき

1回目のお湯はりで、温水器が浴槽の大きさを記憶します。浴槽に水が残っていると、大きさをまちがって記憶してしまい、次のお湯はりで浴槽からお湯があふれたり、お湯はり時間がかかったりすることがあります。

2回目以降お湯はりするとき

一度お湯はりすると、2回目からは残り湯があっても問題なくお湯はりはできます。ただし多少水位がばらつくことがあります。

■循環アダプタより下に残り湯がある場合、その分水位が上昇します。場合によっては、あふれることもあります。ただし、残り湯を完全に排水すると正常にお湯はりします。

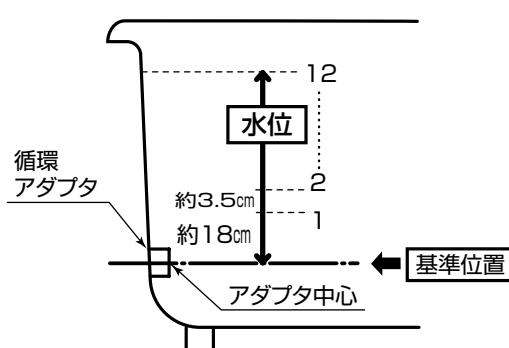


2. 浴槽からあふれないように下記目安を参考にしてふろ水位を決めてください。



ふろ水位設定の目安

- ふろ水位は12段階で設定できます。循環アダプタの中心より約18cm(注1)上までお湯はりされたときの水位を「1」としています。水位「1」から約3.5cm水位が増すごとに「2・3・4…」と表示され、最高水位「12」は循環アダプタの中心より約56.5cm上になります。
水位はばらつくことがありますので、目安としてください。



ふろ水位設定値	水位(目安)
12	56.5cm
11	53cm
9	46cm
7	39cm
5	32cm
3	25cm
1	18cm(注1)

(注1) 1200サイズ浴槽での目安であり、浴槽の大きさ、種類によって約10~26cmの範囲でばらつくことがあります。

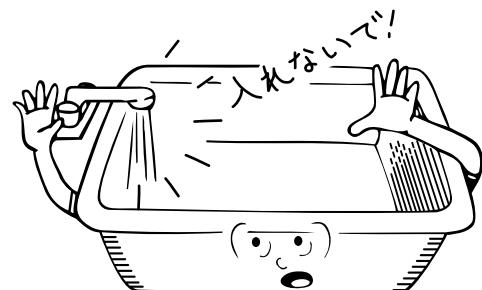
■ 浴槽の種類によっては「12」以下で設定してもお湯があふれることができます。
浴槽の深さに合わせて水位を設定してください。

3. 浴槽の排水栓とふたをしめてください。



お願ひ

- 自動運転中は浴槽にお湯をたさないでください。
温水器が水位をまちがって判断してしまうことがあります。
- お湯はりが完了するまえに入浴しないでください。
お湯が少なかつたり、あふれたりすることがあります。
- イオウを含む入浴剤、温泉水等は、温水器や循環アダプタの腐食の原因になりますので使用しないでください。
- 入浴中は、浴槽の循環口の付近で潜ったりすると、思わぬ事故につながることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。



ちょっと一言

- 自動保温運転またはふろあつく(おいだき)を行うと温水器内の湯温が若干下がります。
特に、冬場などに前日の残り湯を追いだきすると、温水器内の湯温が大きく下がることがあります。湯切れに注意してください。
- 停電があってもふろ温度・ふろ水位・保温時間は停電前の設定を記憶しています。
- お湯はり後の保温時間は初期設定で4時間です。
保温時間の変更については26ページを参照してください。

お湯はりをするには

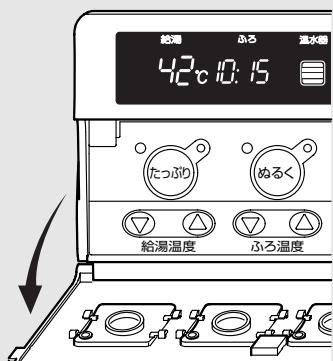
お湯はりする

リモコンでお湯はり温度を35~48°C(1°Cきざみ)、水位を1~12に調節できます。
お湯はり後、設定した時間まで保温します。(保温時間は、最初は4時間に設定されています。
変更する場合は26ページを参照してください。)

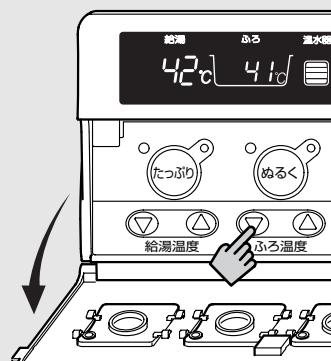
浴室リモコン

例) お湯はり温度を41°Cで、お湯はり水位5に変更する場合

1 リモコンのふたを開ける

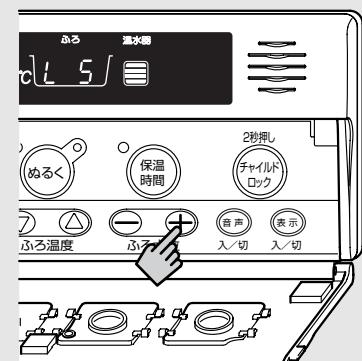


2 ふろ温度を合わせる



●最初はふろ温度:40°Cに設定されています。

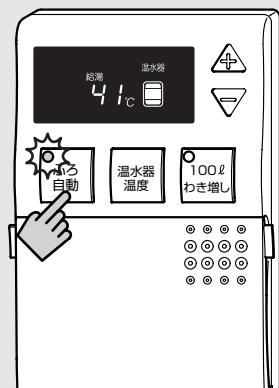
3 お湯はり水位を合わせる



●最初はお湯はり水位:4に設定されています。

台所リモコン

1 ○ふろ自動 スイッチを押す



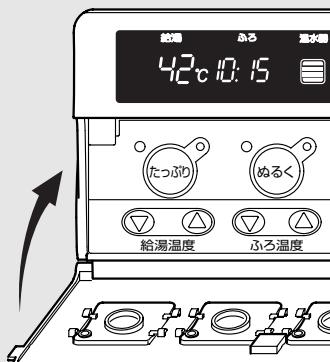
水位の表示について

画面表示	ふろ水位設定値
L1 →	1
L2 →	2
L3 →	3
L4 →	4
⋮	⋮
L12 →	12

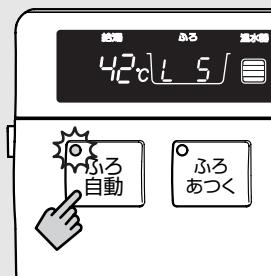
※ふろ水位設定の目安は21ページを
参照してください。

※湯温・水位の変更は台所リモコンではできませんので
浴室リモコンで行ってください。

4 リモコンのふたを閉める



5 ふろ自動スイッチを押す



- 途中でやめたいときは再度ふろ自動スイッチを押してください。

ちょっと一言

リモコンコード番号「089」(タンク内温度低下)について:リモコンの表示画面に「089」が表示されているときは、タンク内の湯温が低くなったのでおふろのわき上げができません。わき増し(時間帯別電灯契約の場合)を行ってください。

自動水位回復や、自動保温運転を開始する前にはブザーがピピッと鳴ってお知らせします。このとき、高温のお湯が循環アダプタから出ることがありますので注意してください。

※画面に表示しているお湯はり温度は、季節及び外気温、施工状態等により必ずしも一致しません。目安としてお使いください。

お湯はりが終わったら

リモコンでお知らせします。

メロディ音のあと、♪「おふろがわき上がりました」と音声が流れ、「入浴OK」と表示します。

浴室リモコンでは



♪おふろが
わき上がりました

台所リモコンでは



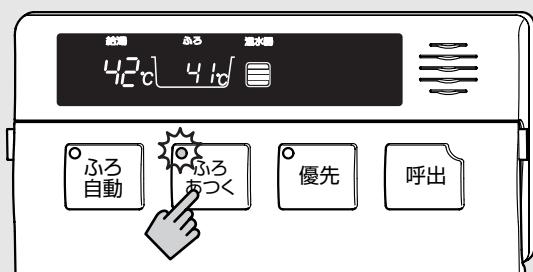
♪おふろが
わき上がりました

おふろでの操作(浴室リモコンで操作)

おふろがぬるいとき

おふろをふろ設定温度約+2°Cまでわかし上げます。

ふろあつくスイッチを押す



- ♪「おふろをわかします」と音声が流れます。
※途中で止めたいときはもう一度、ふろあつくスイッチを押して切る。

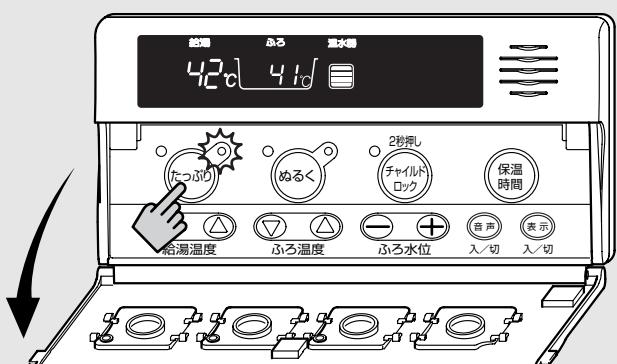
※画面に表示しているふろ設定温度は、配管条件や気温などにより必ずしも一致しません。

- ・浴槽が空の状態で「ふろあつく」を押すと、温水器内の高温のお湯が循環アダプタから出ることがありますのでご注意ください。

おふろのお湯が少ないとき

おふろのお湯を約20㍑増やします。

ふたを開けて、たっぷりスイッチを押す



- ♪「おふろにお湯を足します」と音声が流れます。
●途中で止めたいときはもう一度たっぷりスイッチを押して切る。

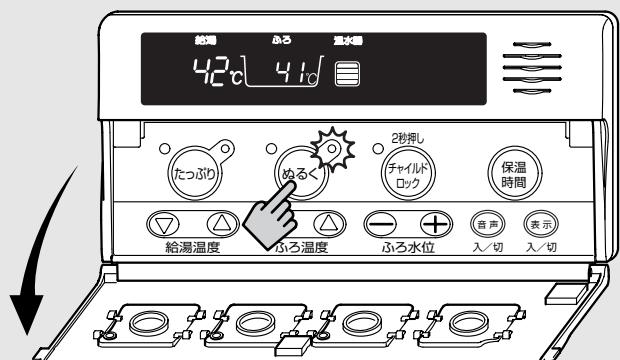
※画面に表示しているふろ設定温度は、配管条件や気温などにより必ずしも一致しません。

- ・たっぷり開始直後はふろ配管にたまつた高温の湯が循環アダプタから出ることがありますのでご注意ください。

おふろが熱いとき

おふろに約10㍑さし水します。

ふたを開けて、ぬるくスイッチを押す



- ♪「おふろをぬるくします」と音声が流れます。
●途中で止めたいときはもう一度ぬるくスイッチを押して切る。

- ・保温中にぬるくスイッチを押すと、その後30分間保温を行いません。

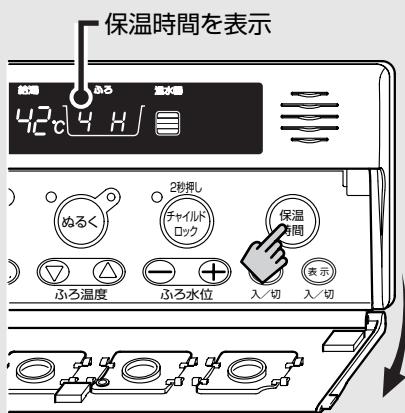
- ・さし水開始直後はふろ配管にたまつた高温の湯が循環アダプタから出ることがありますのでご注意ください。

保温時間を変更したいとき

お湯はり後の保温時間を0~6時間(7段階)に調節できます。
(※ふろ自動運転中は、保温時間の変更ができません。)

例) 保温時間を6時間に変更する場合

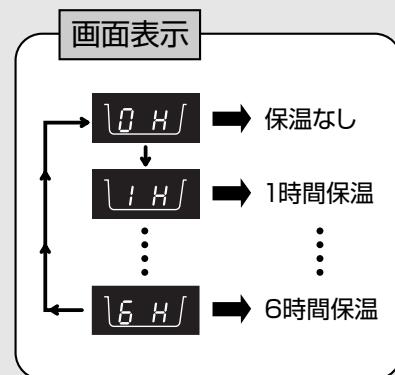
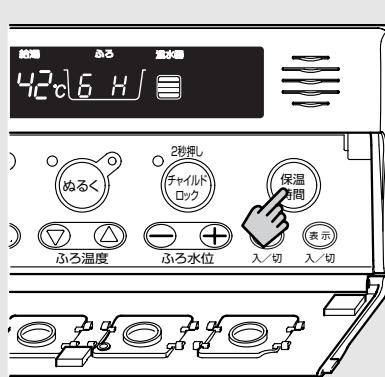
1 ふたを開けて、保温時間スイッチを押す



- 最初は保温時間: 4時間に設定されています。
- ふろ自動運転中は、保温時間の変更ができません。

2 保温時間スイッチで時間を変更する

※スイッチを押すごとに保温時間が切り替わります。

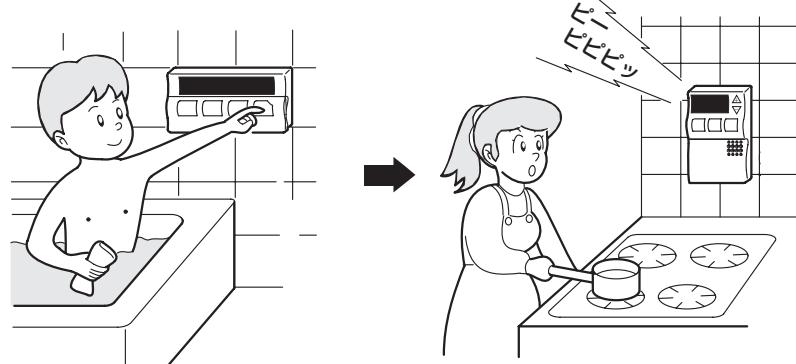


- 設定が完了すれば約10秒以上放置またはふろ自動、たっぷり、ぬるく、ふろあつく、ふろ温度、ふろ水位いずれかのスイッチを押すと通常モードにもどります。

浴室から人を呼びたいときに

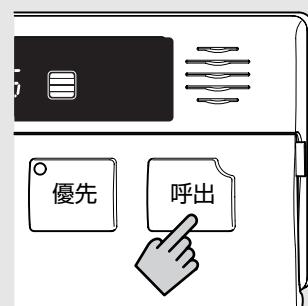
呼出 スイッチを押すと台所リモコンがピーピピピッと4回鳴り♪「おふろで呼んでいます」と3回音声でお知らせします。

- 呼び出ししている間、台所リモコンの スイッチのランプが同時に点滅します。
- 石けんやシャンプーが切れたときや、気分が悪くなったときに浴室から人を呼びたいときに使いください。



浴室リモコン

呼出 スイッチを押す



入浴予約をする(台所リモコンで操作)

入浴予約すると、設定した時刻までにお湯はりを完了し、予約時刻になると、音声でお知らせします。その後設定した時間まで保温します。また、21ページの「お湯はりする前に」を確認してから予約をセットしてください。

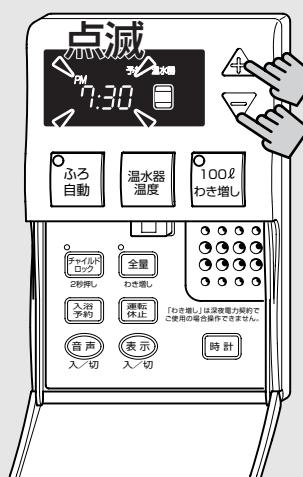
23・24ページを見てふろ温度、お湯はり水位を浴室リモコンで設定しておいてください。

例) 午後7時30分におふろに入りたいとき

1 ふたを開け 入浴予約スイッチを押す



2 +・-スイッチで予約時刻を合わせる



♪「+ - スイッチで時刻を設定して再度押してください」と音声が流れます。

予約時刻を合わせると

入浴予約スイッチを押してから約25秒間 + - スイッチにさわらなければ現在時刻または給湯温度の表示に戻ります。
そのときは、最初からやり直してください。

最初はPM6:00に設定されています。

入浴予約中は、予約時刻の変更はできません。
いったん入浴予約スイッチを押して、入浴予約を解除してください。

+・-スイッチは

- 1回押すと

+ 1分単位ですすみます

- 1分単位でもどります

- 押したままになると

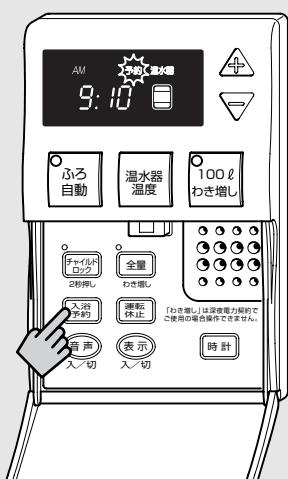
+ 30分単位ですすみます

- 30分単位でもどります

※ふろ自動・たっぷり・ぬるく・ふろあつくの使用中及び運転休止中には、入浴予約は設定できません。

※入浴予約は浴室リモコンではできません。

3 再度 **[入浴予約]**スイッチを押すと 入浴予約がセットされます



♪「セットされました おふろの栓はしましたか」と音声が流れます。

- 入浴予約を解除したい場合は再度 **[入浴予約]** スイッチを押す。
予約開始時刻前に

- ふろ自動 ふろあつく たっぷり ぬるく 入浴予約 のいずれかのスイッチを押しても予約が解除され、予約の文字が消灯します。
- 入浴予約時刻になると「入浴OK」が表示されます。
(ただし、予約時刻にお湯はりが完了しない場合はお湯はり完了後に表示されます)

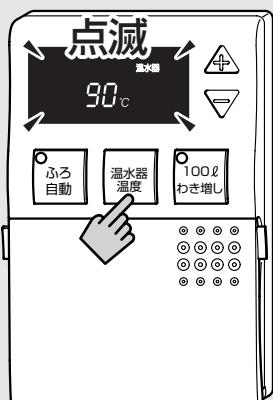


- 現在時刻から入浴予約時刻の間が短いときは予約時刻にお湯はりが完了しない場合があります。
- 現在時刻と入浴時刻が同日で、かつ現在時刻よりも前に予約時刻を設定したときは翌日の予約時刻に合わせてお湯はりが完了します。

わき上げ温度設定のしかた

温水器タンク内のお湯のわき上げ温度を設定することができます。
夜間のわき上げ、昼間のわき増しは、設定された温度にわき上がります。

1 スイッチを押す



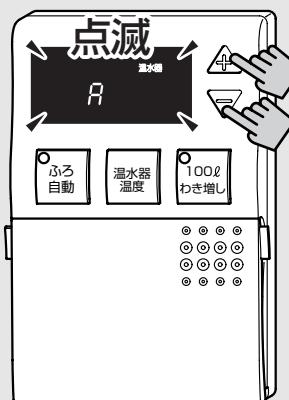
♪「 (プラス、マイナス)スイッチで設定して再度押してください」と音声が流れます。

ちょっと一言

- 70℃設定は、おふろの追いだき能力が十分に確保できない可能性があります。夏場等、おふろのわかし上げを行わない場合のみお使いください。
- リモコンコード番号「089」(タンク内温度低下)について:リモコンの表示画面に「089」が表示されているときは、タンク内の湯温が低くなったのでおふろのわかし上げができません。わき増し(時間帯別電灯契約の場合)を行ってください。

2 スイッチを押しわき上げ 温度を合わせる

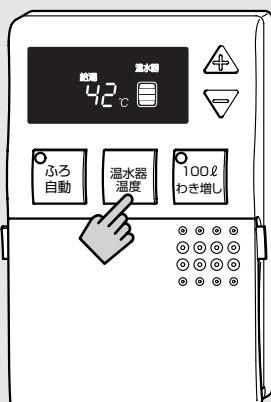
(90・80・70・A(自動)から選択できます。)



※90℃……約90℃までわき上げます。
80℃……約80℃までわき上げます。
70℃……約70℃までわき上げます。
A(自動)…お湯の使用状況に応じてわき上げ
温度を90・80℃から自動的に選
択してわき上げます。(70℃は選
択しません。)

お買い上げ時は90℃に設定されています。

3 再度 スイッチを押す。



♪「変更されました」と音声が流れます。
(温度を変更しない場合は、音声は流れません。)

ちょっと一言



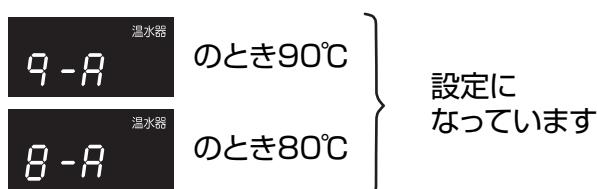
- お湯をたくさん使用するとき(冬期など)は、高めに設定するとより多くのお湯が使えます。
- 短期間にお湯の使用量が大きく変動する場合は、90°C設定で使用されることをおすすめします。
- タンク内の水温が低い場合は設定温度までわき上がらない場合があります。

A(自動)設定のとき、わき上げ温度の確認のしかた

①上記操作手順の2でA(自動)に合わせる。



②▽スイッチを2秒間押し続けるとわき上げ温度を表示します。



※A(自動)の場合、70°C設定にはなりません。

③確認終了後 スイッチを押してください。

※約25秒間操作されないと、わき上げ時間が確定されます。

※再度わき上げ温度を変更したいときは上記操作手順の1~3をくり返してください。

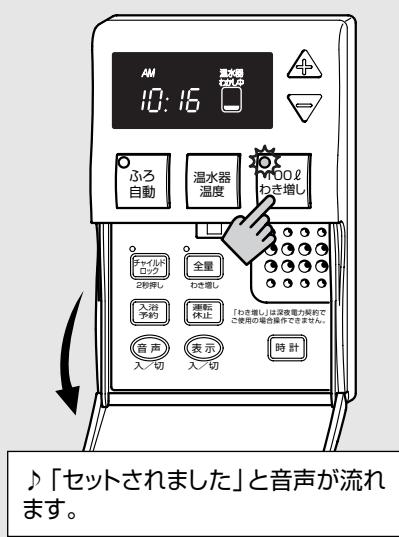
お湯をたくさん使う(台所リモコンで操作)

(時間帯別電灯契約のみ)

お湯が不足しそうなときは、昼間でもタンク内の水をわかすことができます。

100ℓわき増しする

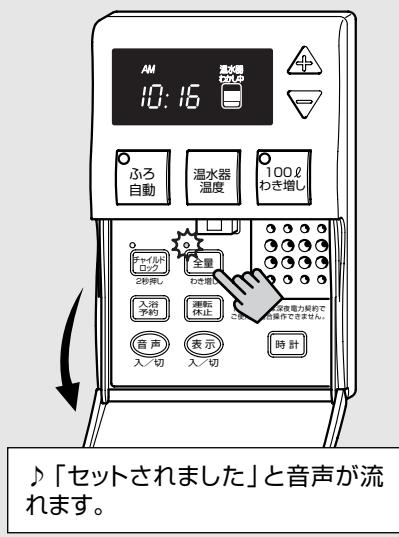
100ℓわき増しスイッチを押す



- 温水器タンク内のお湯が約100ℓ以下になる毎に、上部ヒータが作動し、常に設定温度のお湯を約100ℓ確保する機能です。
- 通常のお湯の使用状態で湯切れまたは追いだき運転等による温水器内の湯温の低下を防止したいときにおすすめです。
- ヒータが作動すると画面に「わかし中」が表示されます。
- 途中で解除するときは、再度 100ℓわき増しスイッチを押してください。
ランプが消灯し♪「解除されました」と音声が流れます。
※100ℓわき増し機能は、毎日継続か当日限りのどちらかに設定することができます。(☞ 36ページ参照)
最初は継続に設定されています。当日限りの場合は、PM11:00になると自動的に解除し、ランプが消灯します。
(解除時刻は電灯契約内容により異なります。)

全量わき増しをする

ふたを開け 全量スイッチを押す



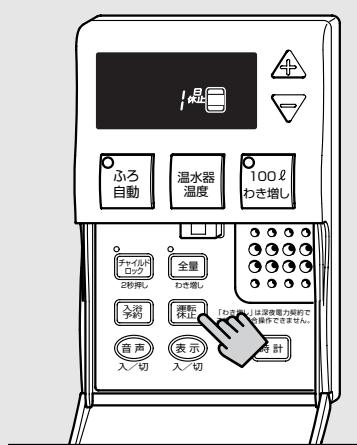
- お湯を約70ℓ以上使用する毎に下部ヒータが作動し温水器タンク内を設定温度のお湯でいっぱいにしておく機能です。
- ヒータが作動すると画面に「わかし中」と表示されます。
- 途中で解除するときは、再度 全量スイッチを押してください。
ランプが消灯し♪「解除されました」と音声が流れます。
- 全量わき増し機能をセットしている場合は、PM11:00になると自動的に解除し、ランプが消灯します。(解除時刻は、電灯契約内容により異なります。)
※深夜通電時間帯以降に、全量スイッチを「入」にしても夜間のわき上げが完了するまで全量わき増し機能は作動しません。
- 来客などで、たくさんのお湯が必要になると予想できるときなどにおすすめです。
- 100ℓわき増し機能と全量わき増し機能を両方セットしている場合は全量わき増し機能が優先してヒータの作動を行います。
- 全量わき増し機能はスイッチを「入」のままにしていても毎日継続して動作しません。
PM11:00になると自動的に解除し、ランプが消灯します。
(解除時刻は電灯契約内容により異なります。)

運転を休止する(台所リモコンで操作)

留守中にむだなわき上げをしないように、1～14日の間で運転を休止させることができます。

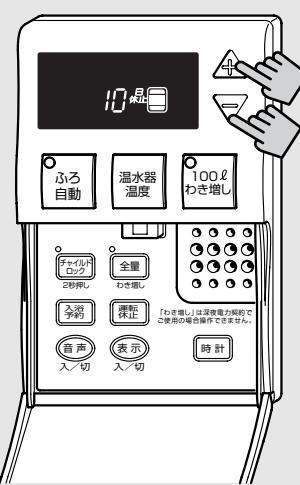
2泊以上旅行などで留守にするときに便利です。

1 ふたを開けて 運転休止スイッチ押す

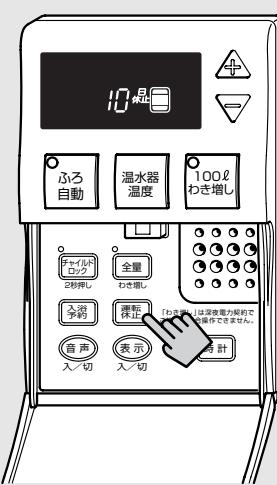


♪「▲▼(プラス、マイナス)スイッチで設定して再度押してください」と音声が流れます

2 ▲▼スイッチで 日数を設定します



3 再度運転休止を押し 設定した日数だけ 運転を休止します



♪「セットされました」と音声が流れます

- 表示部は1日ごとに休止日数を減らしていきます。
(AM7:00<地域によってはAM6:00またはAM8:00>に表示日数が変更されます。)
- 設定した休止日数が0日になると、運転を再開します。
- 運転休止途中で運転を再開したいときは、再度運転休止スイッチを押してください。
♪「解除されました」と音声が流れます。
- 運転休止機能をセットすると100ℓ／全量わき増し機能は解除されます。再度セットしたい場合は運転再開後に行ってください。
- 運転休止中に現在時刻の設定や入浴予約のセットはできません。
いったん、運転休止スイッチを押して、解除してください。

ちょっと一言

運転休止設定日数のしかた

- 外泊日数から1日引いた日数を設定すれば、帰宅した日からお湯が使えます。

例) 3泊4日の場合

$$3-1=2$$

2日休止で設定します。

早見表

宿泊日数	休止設定日数
1泊	休止する必要がありません
2泊	1日
3泊	2日
⋮	⋮
15泊	14日

お湯をたくさん使う

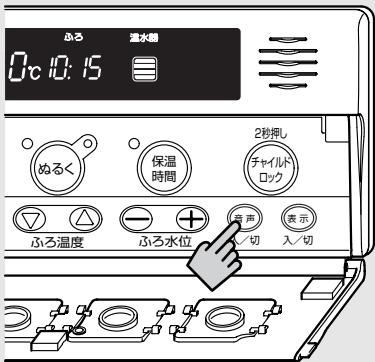
運転を休止する

音声ガイドを消したいとき

リモコンには、おふろがわき上がったときや操作をしたときなどに音声でお知らせするガイド機能を備えています。この音声ガイドが不要であれば、操作したリモコンのみ消すことができます。

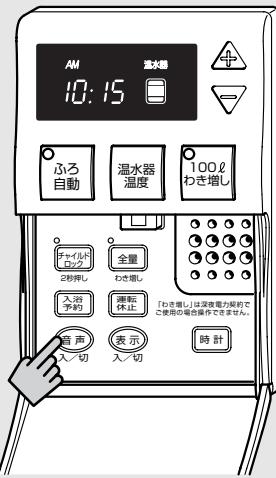
浴室リモコンの場合

ふたを開け 
スイッチを押す



台所リモコンの場合

ふたを開け 
スイッチを押す



-  スイッチを押すと、
♪「音声によるガイド機能が一部解除されました」と音声が流れます。

解除した音声を再び出したいときは

- 再び  スイッチを押すと、
♪「音声によるガイド機能がセットされました」と音声が流れます。

※一部解除できない音声ガイドがあります。

音量ガイド

(例)
「大きめです。」

故障ガイド

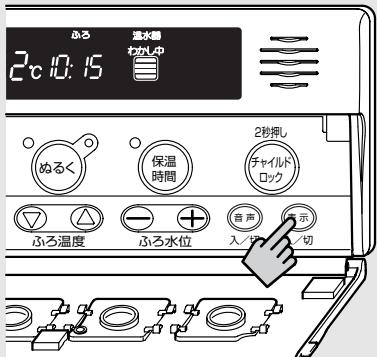
(例)
♪「診断が必要です。使用を中止して
×××-○○○にご連絡ください。」
(お取付店の電話番号が登録されている場合のみ)

画面表示を消したいとき

リモコンの画面表示を消したいときは、操作したリモコンのみ消すことができます。

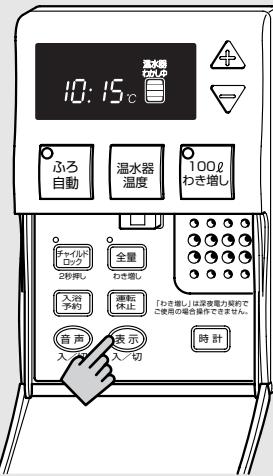
浴室リモコンの場合

ふたを開け スイッチを押す



台所リモコンの場合

ふたを開け スイッチを押す



- お湯を使用しているときやおふろの運転をしているときなどは消すことはできません。

消した画面表示を再び表示させたいときは

画面表示が消えているときに再び スイッチを押すと表示します。

※画面を消しても表示を点灯させる場合があります。

お湯を使用した場合

給湯温度を確認するために点灯します。
お湯の使用後、数分たつと消灯します。

スイッチを操作した場合

操作後、数分間点灯します。

おふろの運転中

ふろ自動、ふろあつく、たっぷり、ぬるくを行っているときは点灯します。
(台所リモコンはふろ自動中および、たっぷり中のみです。)

故障した場合

温水器にエラーが発生した場合、故障コードを表示します。

給湯温度が高温の場合：給湯設定温度が50°C、60°Cのときは「高温」の表示が点灯します。

音声ガイドを消したいときは

画面表示を
消したいときは

温水器のお湯の量を確認する

台所リモコン、浴室リモコンに温水器の湯量を表示して確認できるようにしています。

湯量の見方

湯量※	約390ℓ以上	約150ℓ以上	約100ℓ以上	約50ℓ以上	約50ℓ未満	0ℓ
表示						

※45℃以上のお湯の量

- 温水器内のお湯の量が約50ℓ未満になるとバー表示が点滅してお知らせします。
- 温水器内のお湯の量が0ℓになるとバー表示が全て消えます。

わき増し予報表示について

- 自動保温運転またはふろあつくを行うと、温水器内の湯温が若干下がります。

特に、冬場などに前日の残り湯を追いださると温水器内の湯温が大きく下がることがあります。

- 温水器の湯量表示 が点滅した場合は温水器内の湯温が低くなっています。おふろの追いだしができない可能性があります。

このとき時間帯別電灯契約の場合は台所リモコンの を押してください。

深夜電力契約の場合は湯切れをご注意ください。

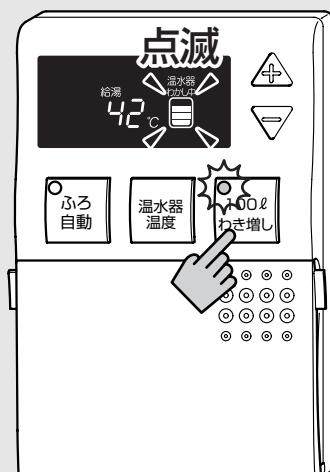
- 湯量表示が点滅しているとき

、 、 スイッチを押すと、

注意音でお知らせします。

台所リモコン

スイッチを押す



ちょっと一言

リモコンコード番号「089」(タンク内温度低下)について:リモコンの表示画面に「089」が表示されているときは、タンク内の湯温が低くなつたのでおふろのわかし上げができません。わき増し(時間帯別電灯契約の場合)を行ってください。

⊕ そのほかにリモコンでできること ⊕

音声ガイドなどの音量を変える

浴室リモコン  37ページ
台所リモコン  39ページ

- 音声ガイドとブザー、メロディの音量を3段階に調節できます。

画面の明るさを変える

浴室リモコン  37ページ
台所リモコン  39ページ

- リモコン画面の明るさを3段階に調節できます。

自動水位回復運転を解除する

浴室リモコンのみ
 37ページ

- ふろ自動運転完了後、入浴OK中の自動水位回復運転の有無を設定できます。

ふろ配管の洗浄を設定する

浴室リモコンのみ
 37ページ

- おふろの排水を行うとき、ふろ配管の残り湯を排水するため自動的に約5ℓの水を流します。
この動作は排水によりおふろの水位が循環アダプタ付近になったときのみ作動します。
ただし、給湯使用中は作動しません。

作動中は  を表示します。(浴室リモコンのみ)

100ℓわき増し機能を当日限りにする

台所リモコンのみ
 39ページ

- 100ℓわき増し機能「入」のとき毎日継続か当日限りかに切替えることができます。

アフターサービスの連絡先の確認

台所リモコンのみ
 39ページ

- アフターサービスに関する連絡先の電話番号が音声で確認できます。
(お取付店の電話番号が登録されている場合のみ)

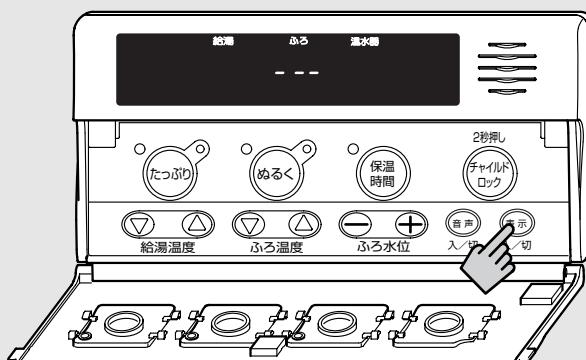
そのほかにリモコンでできること

浴室リモコンの設定変更

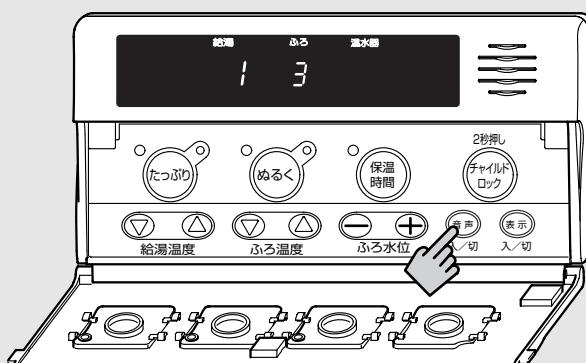
※ お湯を使用しているときやおふろの運転中は操作できません。

安全のため設定変更中は、お湯の使用や他のリモコンからの運転操作はしないでください。

1 ふたを開けて スイッチを2秒以上押す

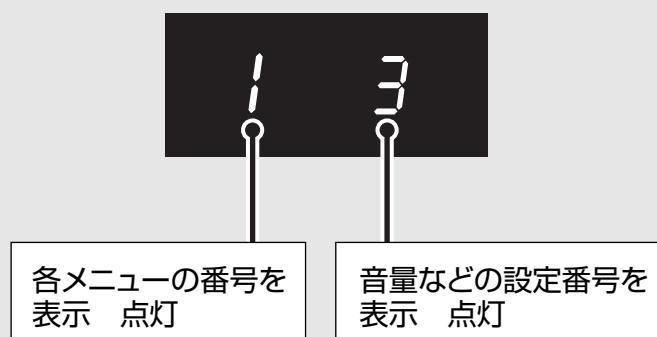


2 つぎに スイッチを押して設定モードにします



画面に各メニュー番号と設定番号を表示します。

例) 画面の明るさ「明」設定のとき



3 スイッチでメニュー番号を設定する (画面左側の数字)

4 ふろ水位スイッチで設定値を変更する

(画面右側の数字)

最初は **□** に設定してあります。

音量

「1」にします。

音量設定メニュー点灯

**音量の設定をします。**

変更すると音声で設定音量をお知らせします。

リモコン表示	3	2	1
音の大きさ	大	中	小

画面の明るさ

「2」にします。

画面の明るさ設定のメニュー点灯

**画面の明るさを設定します。**

リモコン表示	3	2	1
明るさ	明	中	暗

水位回復運転

「3」にします。

水位回復運転メニュー点滅

**水位回復運転の有無を設定します。**

リモコン表示	1	0
水位回復運転	有	無

ふろ配管の洗浄

「4」にします。

ふろ配管洗浄メニュー点滅

**ふろ配管洗浄の有無を設定します。**

リモコン表示	1	0
ふろ配管洗浄	有	無

5 設定が完了すれば再度 スイッチを押す または約5分以上放置する。

通常モードに戻ります。



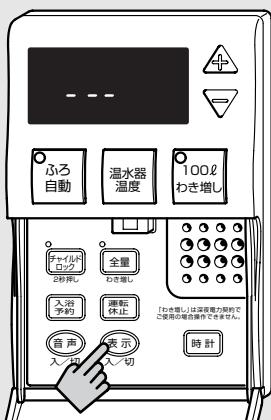
そのほかにリモコンでできること

台所リモコンの設定変更

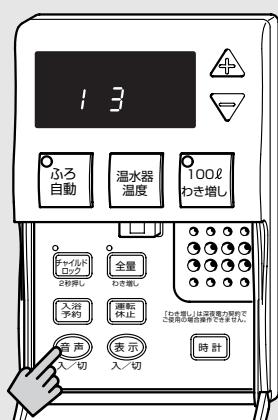
※ お湯を使用しているときやおふろの運転中は操作できません。

安全のため設定変更中は、お湯の使用や他のリモコンからの運転操作はしないでください。

1 ふたを開けて(表示)スイッチを2秒以上押す

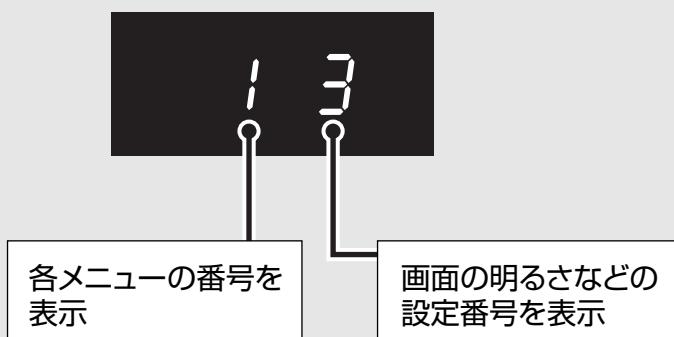


2 つぎに(音声)スイッチを押して設定モードにします



画面に各メニュー番号と設定番号を表示します。

例) 画面の明るさ「明」設定のとき



3 スイッチでメニュー番号を設定する (画面左側の数字)

4 スイッチで設定値を変更する (画面右側の数字) 最初は に設定してあります。

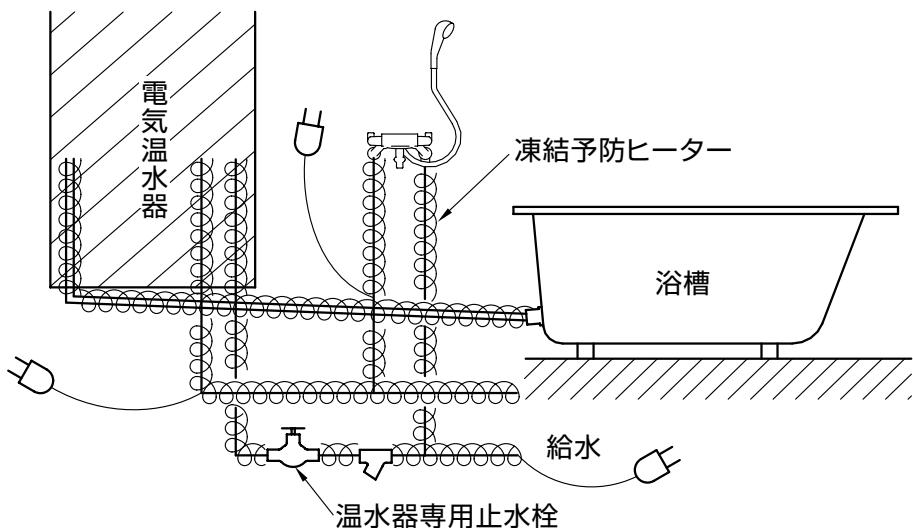
音量	<p>「1」にします。 音量設定メニュー点灯</p> 	<p>音量の設定をします。</p> <table border="1"> <tr> <td>リモコン表示</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr> <td>音の大きさ</td><td>大</td><td>中</td><td>小</td></tr> </table>	リモコン表示	3	2	1	音の大きさ	大	中	小
リモコン表示	3	2	1							
音の大きさ	大	中	小							
画面の明るさ	<p>「2」にします。 画面の明るさ設定のメニュー点灯</p> 	<p>画面の明るさを設定します。</p> <table border="1"> <tr> <td>リモコン表示</td><td>3</td><td>2</td><td>1</td></tr> <tr> <td>明るさ</td><td>明</td><td>中</td><td>暗</td></tr> </table>	リモコン表示	3	2	1	明るさ	明	中	暗
リモコン表示	3	2	1							
明るさ	明	中	暗							
100%わき増し機能	<p>「3」にします。 100%わき増し機能のモード切替メニュー点灯</p> 	<p>100%わき増し機能を継続か当日限りにするかを設定します。</p> <table border="1"> <tr> <td>リモコン表示</td><td>1</td><td>0</td></tr> <tr> <td>モード</td><td>継続</td><td>当日限り</td></tr> </table>	リモコン表示	1	0	モード	継続	当日限り		
リモコン表示	1	0								
モード	継続	当日限り								
連絡先確認	<p>「4」にします。 連絡先メニュー点滅</p> 	<p>アフターサービスに関する連絡先の電話番号が音声で確認できます。 〔お取扱店の電話番号が登録されている場合のみ〕</p>								

5 設定が完了すれば再度 スイッチを押す または約5分以上放置する。 通常モードに戻ります。



凍結による破損を予防するには

- 冬季は寒冷地だけでなく、暖かい地域でも周囲温度が0°C以下になる場合には、減圧弁、逃し弁や配管が凍結し、お湯が出ないばかりではなく、水漏れなどの原因になることがあります。
 - 凍結によって破損すると保証期間内でも有料修理となります。
- ※ 給水・給湯・ふろ配管の凍結予防のため、各配管には保温材や電気ヒーター等を巻くなどの保温処置が必要です。保温処置がされているか確認してください。
- 凍結予防ヒーターが図のように給水管・出湯管・ふろ配管別々に巻かれているかを確認してください。
 - 凍結予防ヒーターは何本も使用されていますので、すべてのヒーターのプラグをコンセントに差し込んでください。
 - 凍結しない季節は安全のためコンセントからヒーターのプラグを抜いてください。



■ふろ配管の水抜き方法

ふろ配管の凍結のおそれがあるときには、上記凍結予防ヒーターの使用とあわせて、ふろ配管の水抜きを行ってください。

- ① 浴槽が空であることを確認して浴室リモコンの または、おいだきスイッチを押す。
- ② しばらくの間、循環アダプタより水が出るので、そのまま30秒程待ち再度 または、おいだきスイッチを押す。
- ③ ①、② の操作をもう一度繰り返す。

■凍結予防装置による方法

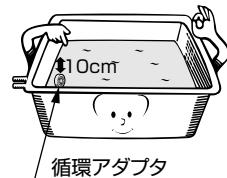
機器の電源プラグをコンセントに差込んでおくだけで自動的に凍結を予防します。

機器内部のヒータによる方法

気温が下がってくると、ヒーターが自動的に作動し、機器内部をあたためます。
※給水・給湯・ふろ配管の凍結は予防できません。

ポンプ循環によるふろ配管の凍結予防方法

浴槽の循環アダプタより10cm以上水を入れてください。
気温が下がってくると、自動的にポンプが作動し、水を循環させます。



※41ページの凍結予防ヒーターが使用できない場合のみ使用してください。

※使用する場合はリモコンでの設定変更が必要です。

下記「■凍結予防運転の有無の設定方法」を行ってください。

※ポンプ循環によるふろ配管の凍結予防方法を用いると条件によっては

- 深夜電力でのわかし上げ時にわかし上げ温度が設定温度より若干低くなる。
- 浴槽内のお湯があたたまる。

などの可能性がありますので注意してください。

■凍結予防運転の有無の設定方法

- ① 浴室リモコンの  スイッチを2秒以上押す。
 - ②  スイッチとふろ温度スイッチ  を同時に5秒以上押す。
 - ③ 設定状況によりどちらかの音声が流れます。(初期設定は凍結予防運転なし)

「設定されました」…凍結予防運転あり
「解除されました」…凍結予防運転なし
 - ④ 設定が完了すれば再度  スイッチを押す。
- ※一度設定すると、解除するまで継続します。

凍結のおそれがあり、長期間使用しないとき

- 凍結のおそれがあり、長期間使用しないときは機器の水を抜いて凍結予防を行ってください。
 - 水抜き方法は、排水のしかた(47・48ページ)の手順で行ってください。
- ※再給水する場合は、再給水のしかた(49ページ)の手順で行ってください。

予凍結するには
による破損を

こんなときは

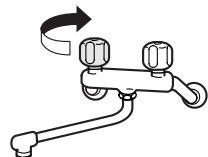
機器を移設されるときは

!**注意**

増改築などのため機器を移設されるときは工事や調整に専門の技術が必要になりますので、必ずお買い上げの販売店又はお取付店にご相談ください。

停電のときは

- 停電中はご使用できません。
給湯栓を閉めて通電されるのをお待ちください。
温水器内の高温のお湯が出るおそれがあるので注意してください。
- また、時刻のバックアップ電池が切れた場合、台所リモコンの時刻表示が（- : - - 点滅）になります。
その場合は15ページ「時計を合わせる」をご参照の上、時刻を再設定してください。



断水のときは

- 断水時や万一の地震などの災害時は、タンクの残り湯（水）を生活用水（飲用はできません）として利用できます。（☞ 44ページ）

短期間お使いにならないとき

- ブレーカー及び本体の漏電遮断器のレバーを必ず「切」（OFF）にしてから温水器専用止水栓を閉じてください。（☞ 7・8ページ）
- 再びご使用になるときは、タンク内の水を取り換えることをおすすめします。
運転を休止させることができます。（☞ 32ページ）

長期間お使いにならないとき

- 1ヵ月以上使用しないときは、ブレーカー及び本体の漏電遮断器のレバーを必ず「切」（OFF）にしてからタンクの排水をしてください。（☞ 7・8ページ）
排水のしかたは、47・48ページ（排水のしかた）をご覧ください。
- 再びご使用になるときは、13ページ「使用前の準備」をご覧ください。

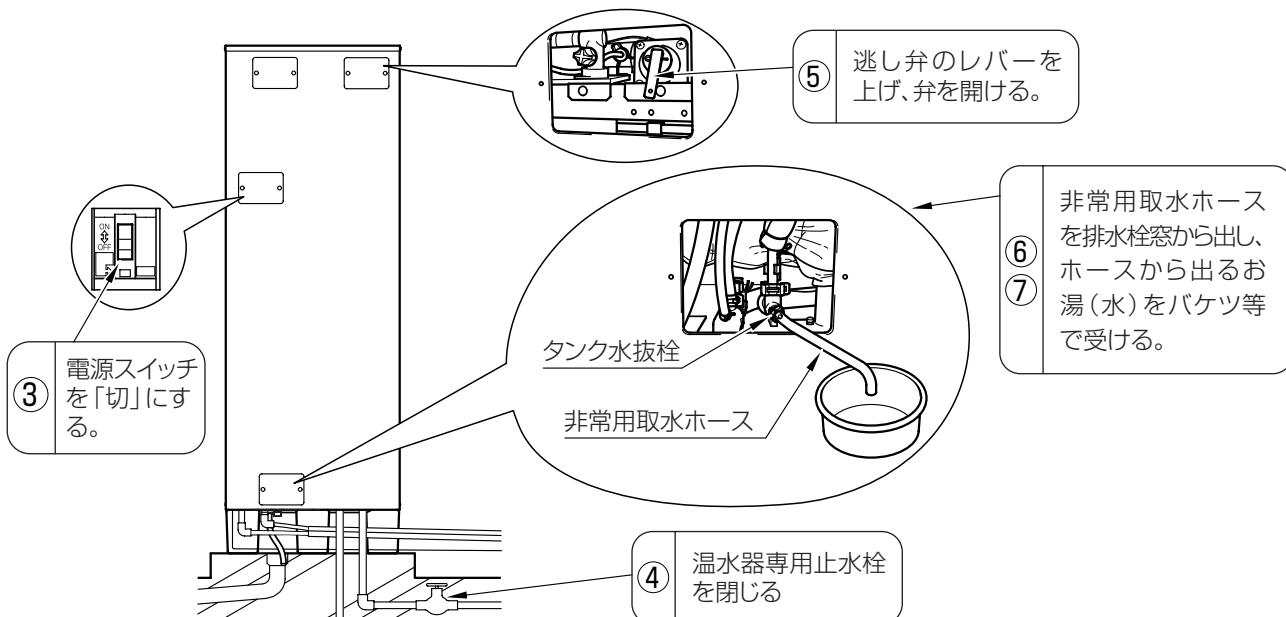
テレビやラジオに雑音が入るときは

テレビやラジオを使用中に映像の乱れや雑音が入ることがあります。
また、テレビやラジオは機器本体と離れた場所でご使用ください。

断水のときなどにお湯を取り出す

断水時や万一の地震などの災害時は、タンクの残り湯（水）を生活用水（飲用はできません）として利用できます。

- ① お湯（水）を受けるバケツ等を準備してください。
- ② 逃し弁、電源スイッチ、排水栓の点検窓（3つ）のカバーを外します。（☞ 7ページ参照）
- ③ 本体の電源スイッチを「切」（OFF）にします。
※深夜電力契約の場合は2つとも「切」（OFF）にします。
- ④ 温水器専用の止水栓を閉じます。
- ⑤ 逃し弁のレバーを上げます。（逃し弁開）
- ⑥ タンク水抜栓についている非常用取水ホースを排水栓窓から出します。
※非常用取水ホースがタンク水抜栓から抜けないように注意してください。
- ⑦ タンク水抜栓を回して、お湯（水）を取り出します。ホースから出るお湯（水）をバケツ等で受けてください。
※タンク水抜栓はゆっくり回して湯（水）が出てくる位置で止め、外れないようにしてください。外れると勢いよくお湯が吹き出し、やけどのおそれがあります。
※取水中、タンク水抜栓と非常用取水ホースは熱くなることがありますので、やけどに注意してください。
- ⑧ 取水が終わったらタンク水抜栓を閉じ、逃し弁のレバーを下げます。（逃し弁閉）
※再給水するときは、「使用前の準備」（☞ 13・14ページ参照）にしたがって行ってください。



■やけどに注意

取水時は、やけどに注意してください。

取水中、急に熱湯（最高約90°C）が出る場合があります。

⚠ 警告



このなどでは
断水のときなどにお湯を取り出す

こんなときは

定期的な点検

⚠ 注意



必ず実行

安全・快適にご使用いただくために、以下の点検をお願いします。

点検の際のご注意

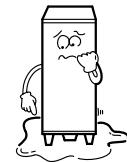
- 機器の前面カバーは外さないでください。
- まわりにガス・灯油類や引火物はありませんか？



危険なものや不要なものは取除いてください。

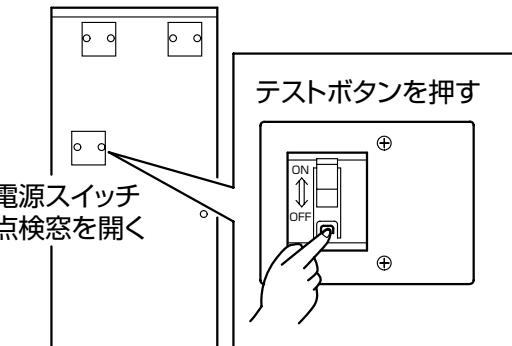
本体の水漏れ確認（1日1回）

- 電気温水器を設置した床面など周辺に水が漏れてないか確認する。
(特に集合住宅では漏水が階下へ被害をあたえます。)
漏水をしている場合は、止水栓又は元栓を閉め、お取付け店にご連絡ください。



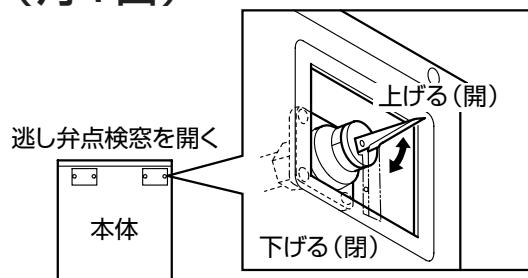
漏電遮断器の動作確認（月1回）

- 月に一度、漏電遮断器のテストボタンを押して動作確認をしてください。
通電時間帯に漏電遮断器のテストボタンを押すと「入」(ON)→「切」(OFF)になれば正常です。(漏電のときには感電の原因になります。)
テストボタンを押しても「切」(OFF)にならない場合は、お取付け店にご連絡ください。
また確認後は、必ず「入」(ON)に戻してください。
※深夜電力契約の場合は、漏電遮断器が2つあります。
2つとも動作確認してください。



逃し弁の動作確認（月1回）

- 月に一度、逃し弁のレバーを2~3回上げ下げして必ず動作確認をしてください。
レバーを上げた時に排水口より排水し、下げた時に排水が止まれば正常です。
(逃し弁が作動しないと、タンクや配管に異常な圧力がかかり破損の原因となります。)
逃し弁が作動しない場合は、止水栓又は元栓を閉め、お取付け店にご連絡ください。



日常のお手入れ

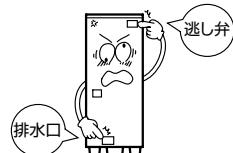
タンクの手入れ(月1回)

- 月に一回程度タンクの下部にたまつた汚れを排水してください。(☞ 47ページ)
 - ① タンク下部の温度を下げるためにバケツ1杯分のお湯を使用してください。
 - ② 本体の前面カバーの逃し弁、漏電遮断器、排水栓の点検窓(3つ)を取り外します。
 - ③ 温水器専用の止水栓を閉じます。
 - ④ 電源スイッチのレバーを「切」(OFF)にします。
※深夜電力契約の場合は、2つとも「切」(OFF)にします。
 - ⑤ 逃し弁のレバーを上げます(逃し弁開)。
 - ⑥ 排水栓を開きます。
 - ⑦ 汚れた水がきれいな水に変わったら排水栓を閉じます。
 - ⑧ 排水が終わったら、温水器の専用止水栓を開きます。
 - ⑨ 逃し弁排水口から水が出てきたら逃し弁のレバーを下げます(逃し弁閉)。
 - ⑩ ④で「切」(OFF)にした電源スイッチのレバーを「入」にします。
 - ⑪ ②で外した前面カバーの点検窓(3つ)を取り付けます。

！警告

■やけどに注意

- 逃し弁の動作確認時は、逃し弁と排水口に手を触れないでください。
(やけどのおそれがあります。)
- タンク内の熱湯を直接排水しないでください。
(やけどや排水管が熱で変形するおそれがあります。)



ちょっと一言

- 逃し弁の弁部に水アカの付着や、異物のカミ込みがあると、排水口より常に湯が流れ、湯量不足の原因になります。
- 逃し弁は、水から湯になるときの膨張分の水を排水し、タンクを圧力から守る安全装置です。
- 逃し弁が正常に動作しないと、タンクが破損し、水漏れや故障の原因になります。
- タンクのお手入れは、深夜通電時間帯をさけて、行ってください。湯切れの心配があります。

日常のお手入れ

長期間お使いにならないとき(排水のしかた)

- 長期間使用しない場合は凍結のおそれがありますので、排水してください。
(通常の排水は46ページの「タンクの手入れ」をご覧ください。)

〔排水手順48ページ参照〕

- ①タンク内の温度を下げるため、おふろなどに給湯してお湯を使い切ってください。
- ②浴槽の水を排水します。
- ③温水器専用の止水栓を閉じます。
- ④本体の前面カバーの点検窓(4つ)をすべて取り外します。(図7 ページ)
- ⑤浴室リモコンの「たっぷり」スイッチを押し(ON)、30秒程度待ち再度「たっぷり」スイッチを押します(OFF)。
〈循環ポンプの水抜き〉
- ⑥浴室リモコンの「ふろあつく」または「おいだき」スイッチを押し(ON)、30秒程度待ち、再度「ふろあつく」または「おいだき」スイッチを押します(OFF)。
(このとき循環アダプタから少量の水が出ます。)
- ⑦⑥の操作を3回ほど繰り返します。
- ⑧本体下部のポンプ水抜栓を開けます。
- ⑨ポンプ水抜栓を開けたまま、⑥の操作を3回ほど繰り返します。
(このとき、ポンプ水抜栓より少量の水が出ます。)
〈タンクの水抜き〉
- ⑩循環ポンプの水抜きが終了したら、本体の漏電遮断器のレバーを「切」(OFF)にします。
※深夜電力契約の場合は、2つとも「切」(OFF)にしてください。
- ⑪タンク排水栓を開けます。(排水口より排水が始まります。)
- ⑫給湯吸気栓を開け、約1分後に排水チューブ(赤テープ付の透明チューブ)を引出し、折り曲げて洗濯ばさみ等でつかみ、約1分間閉塞します。
- ⑬ふろ吸気栓を開けて、1分後に逃し弁のレバーを上げます。
(約40~50分で水が抜けます。)
- ⑭水が抜け終わった後、最後にタンク内のタンク水抜栓(非常用取水ホース付)を開けます。
- ⑮④で外した前面カバーの点検窓(4つ)を取り付けます。

!**注意**

■排水栓は再給水されるまで開いたままにしてください。

(排水栓を閉じると、タンク内が負圧になり、変形・破損のおそれがあります。)



必ず実行

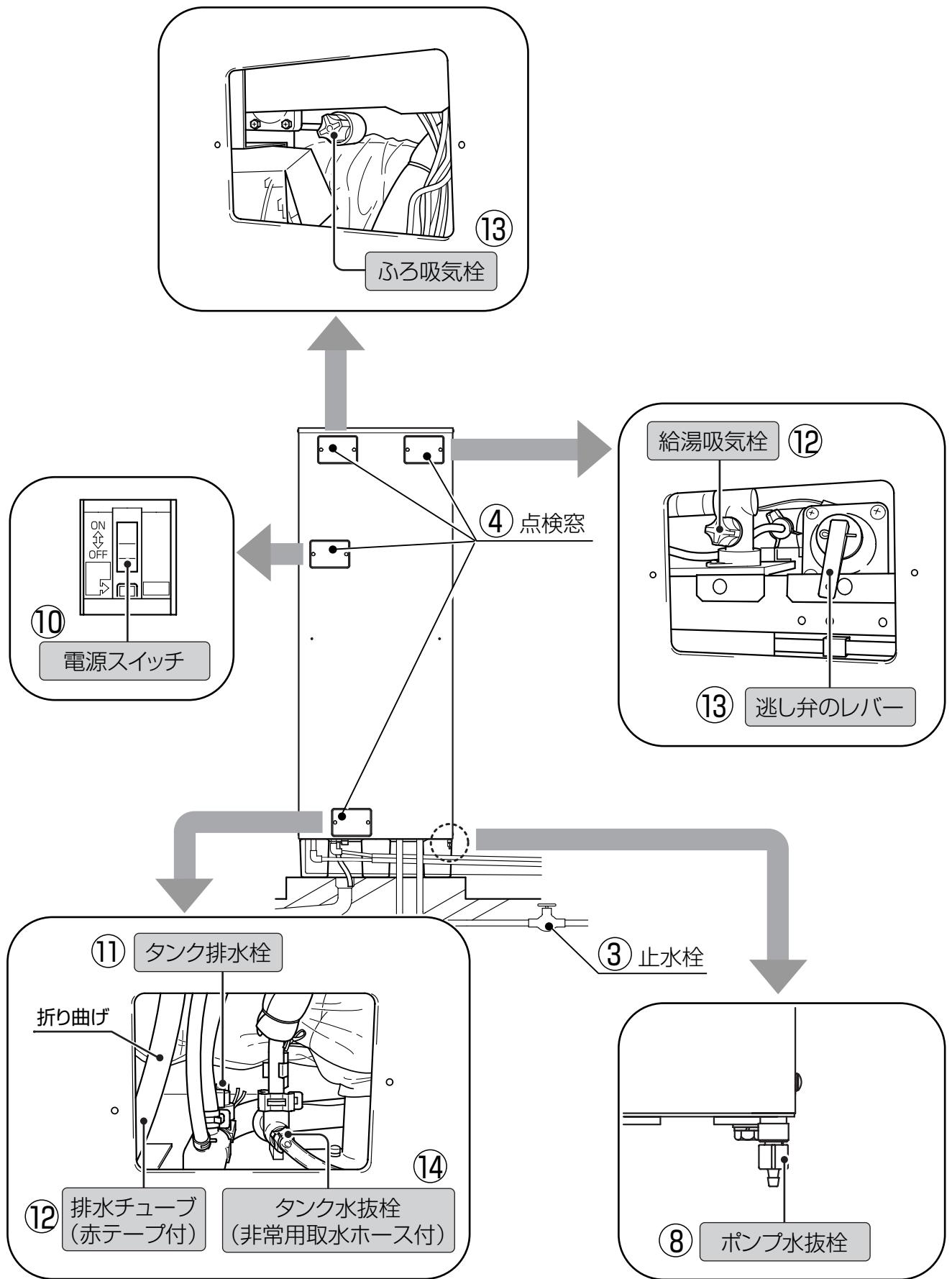
!**警告**

■やけどに注意

タンク内の熱湯を直接排水しないでください。
(やけどや排水管が熱で変形するおそれがあります。)



禁止



日常のお手入れ

再給水のしかた

- 再給水を行う場合は、13・14ページの「使用前の準備」をご覧ください。

温水器内のふろ配管のお手入れ

- 入浴剤等を使用し、ふろ配管内の汚れが気になる場合に操作してください。
浴槽が空のときに浴室リモコンで操作すると、さし水運転とポンプ循環を交互に行い、ふろ配管内の入浴剤を排出できます。

※お湯が使われていないこと、おふろの運転中でないことを確認してください。

- ① 浴槽に湯（水）がないことを確認してください。
- ② 浴室リモコンの  スイッチを2秒以上押します。
- ③  スイッチを5秒以上押します。
- ④ 浴室リモコンに「」と表示され、循環アダプタから水が10ℓ出て、その後ポンプ循環を行います。洗浄時間は約5分間です。
- ⑤ 終了すると浴室リモコンからお知らせ音ピピッピピッピッと3回鳴ります。

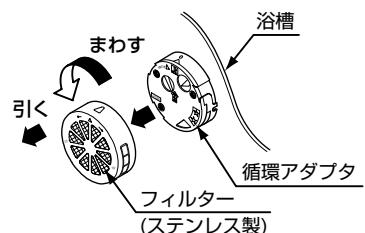
※ふろ配管の洗浄を途中で止めたいときは 、（または、おいだき）、
、いずれかのスイッチを押すか、またはシャワー等でお湯を使うと解除されます。

循環アダプタのフィルター（週に1度）

- フィルターが目詰まりすると、わきあがりに時間がかかったり、浴槽内の温度にバラツキが生じますので、掃除をしてください。

手順

- ① フィルターを左に回して、カチッと鳴ったら手前に引いて取り外す。
- ② フィルター部分のゴミを水で洗い流す。
- ③ フィルターを元どおりに取り付ける。

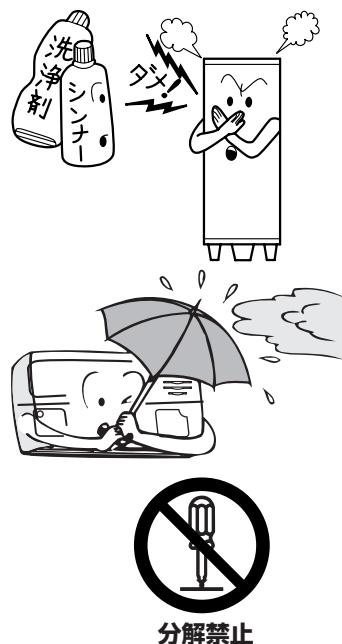


※ 循環アダプタには、さまざまなタイプがありますので取り外し方法が異なる場合があります。

※ 酸やアルカリを含んだふろ用洗剤は、機器や循環アダプタの腐食の原因になりますので使用しないでください。洗剤を使う場合は、洗剤に記載されている注意文をよくお読みの上ご使用ください。また、固形成分の多い入浴剤は使用をひかえてください。

リモコン・機器外装の手入れ（月1回）

- かたく絞った布でふいてください。
汚れがひどいときは適当にうすめた中性洗剤をふくませた布でふいてください。
※ 酸性・アルカリ性の洗剤やシンナーなどは割れの原因になりますので使用しないでください。
- 台所リモコンは絶対に水をかけないでください。(台所リモコンは防水されていません。また浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。特にスピーカ部は勢いよく水をかけると故障の原因になりますので注意してください。)
- リモコンは絶対に分解しないでください。
また、スピーカ部をブラシなどでこすったり、つついたりしないでください。故障の原因になります。



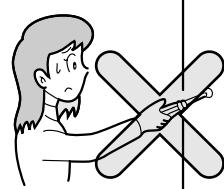
故障かな？と思ったら

！注意



分解禁止

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
(故障、感電の原因になります)



修理を依頼される前に

こんなどき		理由
お湯に関する事	お湯が白く濁って見える。	水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、細かい気泡になって出てくる現象です。ビール等の泡と似た現象であり、汚濁とは違い無害なものです。
	お湯から油や臭いが出来る。	初めて使うときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混じって出てくる場合がありますが、数日使用すると消えます。
	急にお湯の出が悪くなつた	他の給湯栓と一緒に使用していませんか。
	お湯の出が遅い	機器本体から給湯栓までの距離があれば少し時間がかかります。
	お湯がぬるい。	ふろあつく運転を行うとタンク内の湯温が若干下がります。また冬場に前日の残り湯を追いださるとタンク内の湯温が大きく下がるので注意してください。
リモコン	リモコンの表面温度が高い。	リモコンは、温度表示等を見やすくするため、蛍光表示管を使用しています。そのため、温度が高くなりますが、異常ではありません。
	機器の排水口からお湯が出る	お湯を沸かし上げる際にタンクの圧力が高くなり逃し弁からお湯(膨張水)が出ますが異常ではありません。
	給湯栓を閉めたときやお湯はりが終了したときに衝撃音がする。	給湯栓を急閉止したときやお湯はり弁を開閉するときに、水圧によって発生する音です。
	使用中にモーター音がする。	湯温を調節するため、機器内のモーターが回っている音です。
おふろに関する事	給水・給湯配管に水滴が付着する。	外気温に対して水温が低い場合、空気中の水分が結露して付着します。
	わかし上げていないのにポンプの運転音がする。	外気温が下がつくると、浴槽の水を循環させて凍結予防を行うため機器のポンプが運転します。 浴槽に水がない場合は、約4分後に自動的にポンプを停止します。
	わかし上げていないのに循環アダプタから湯気や水が出る。	①機器内の配管の残水があたためられて湯気や水滴となって出てくることがあります。 ②外気温が低い場合は、凍結予防のためにポンプが運転し、配管内に残っていた水が排出されることがあります。
	わかしあげをすると、循環アダプタからゴミが出てくる。	機器内にたまつた入浴剤の成分や湯あかなどが出てきたものです。ゴミ防止のため、固形成分の多い入浴剤の使用はひかえてください。(☞ 6ページ)

こ ん な と き	理 由
おふろに 関するこ と	お湯はり量が少なくなったり、止まつたりする。 ①おふろの水位を確認しているためです。 ②給湯と同時使用しているためです。
	浴槽の水が青く見える。 水質によっては、機器の設置後もなくして発生することがあります。これは、銅パイプの銅イオンが溶出して青く見えるもので、人体には無害なものです。浴槽に付着しないようこまめに掃除をしてください。
	入浴予約した時刻になってもお湯はりが終わっていない。 入浴予約は予約時刻の1時間前までに設定しないと、お湯はりの終了が遅れることがあります。
	ふろの水位がずれる。 ①浴槽に残り湯がある場合にお湯はりすると水位がずれことがあります。 ②電磁波等の影響で、まれに水位がずれことがあります。これは、次回のお湯はりを行うことにより水位は正常にもどります。

こ ん な と き	お調べいただきたいこと	していただきたいこと
お湯に 関するこ と	お湯が出ない。 温水器専用止水栓は開いていますか。	閉じていたら、開いてください。
	断水ではありませんか。	水道局へお問い合わせください。 断水が終わるまでお待ちください。
	配管部が凍結していませんか。	とけるまで待ってください。 凍結予防ヒーターを巻いてください。
	お湯の出が少ない。 給湯栓は十分に開いていますか。	十分に開いてください。
	他の給湯栓と同時に使用していませんか。	複数箇所で給湯を同時使用すると、 お湯の出が悪くなることがあります。
	お湯の出が悪い。 温水器専用止水栓は充分に開いていますか。	充分に開いてください。
	お湯がわからない。 リモコンの時刻表示が---で点滅していませんか。 (時間帯別電灯契約の場合)	時間帯電灯契約の場合は時刻の設定をしてください。  15ページ
	リモコンで運転休止が設定されていますか。	運転の休止を解除してください。  32ページ
	ブレーカー又は、本体の電源スイッチが「切」(OFF)になっていますか。	「切」(OFF)になっているときは、「入」(ON)にしてください。
	電力計が動いていますか。 (午後11時～午前7時の間) 地域により一部異なります。	※2度、3度と「切」(OFF)になる場合は漏電のおそれがありますので、 お取付け店にご連絡ください。
	リモコンの時計は合っていますか。	時計を現在時刻に合わせてください。  15ページ 夜間ではわき増しはできません。

故障かな？と思ったら



故障かな?と思ったら

こんなとき	お調べいただきたいこと	していただきたいこと	
お湯に関するご質問	お湯がぬるい。 お湯が足りない。	深夜電力の通電時間帯にお湯をたくさん使用していませんか。 いつもに比べてお湯をたくさん使用しませんでしたか。	翌朝までお待ちいただくか、時間帯別電灯契約にてご使用のお客様はわき増しを行ってください。  31ページ
		タンクへの給水温度が低温ではありませんか。	温水器の残湯量が少なく、給水温が5°C以下では90°Cまでわき上がりません。
		逃し弁の排水口から戻間もお湯が流れ出でていませんか。	逃し弁の動作確認をしてください。  45ページ ※お湯が止まらないときは、お取付け店にご連絡ください。
		給湯、給水、ふろ配管から水漏れしていませんか。	お取付け店に、ご相談ください。
		温水器のわき上げ設定温度は「90°C」になっていますか。	湯切れするとき、設定を「90°C」にしてご使用ください.  29ページ
	高温又は低温のお湯が出ない。	リモコンは希望の給湯温度に設定されていますか。	リモコンを希望の給湯温度に設定してください。
	適温のお湯が出ない。	サーモスタット付き混合栓の場合、リモコンの給湯温度設定は適切ですか。	リモコンの給湯温度設定を使用温度より約10°C高くしてください。
リモコンに関するご質問	台所リモコンで給湯温度の変更ができない。	浴室リモコンの「優先」ランプが点灯していませんか。	浴室リモコンの優先スイッチを「切」にしてください.  19ページ
	浴室リモコンで給湯温度の変更ができない。	浴室リモコンの「優先」ランプが消灯していませんか。	浴室リモコンの優先スイッチを「入」にしてください.  19ページ
	電気代が高い。	リモコンの時計は合っていますか。	時計を現在時刻に合わせてください.  15ページ
		100回わき増しスイッチが「入」になつていませんか。	必要に応じて設定してください.  31ページ
	リモコン操作しても表示部が点灯しない。	①停電していませんか。 ②ブレーカー又は本体の漏電遮断器(電源スイッチ)が「切」(OFF)になつていませんか。	①停電時は停電が終わるまでお待ちください。 ②ブレーカー・電源スイッチが「切」(OFF)になつているときは「入」(ON)にしてください。 ※2度、3度と「切」(OFF)になる場合は漏電のおそれがありますので、お取付け店にご連絡ください。
	液晶にコード番号が表示されている。	55ページを参照ください。	_____

こ ん な と き	お調べいただきたいこと	していただきたいこと	
機器に関するご質問	わき増しができない。 (時間帯別電灯契約の場合)	電力料金の契約が「深夜電力契約」になっていますか。	契約が「深夜電力契約」の場合は、わき増しを利用できません。 契約については、最寄りの電力会社に、ご相談ください。
		リモコンの時計は合っていますか。	時計を現在時刻に合わせてください。  15ページ 夜間ではわき増しはできません。
おふろに関するご質問	循環アダプタから気泡が出る。	お湯はり、わかし上げ開始直後は、追いだき配管内の空気(気泡)が出てきます。	しばらくしても止まらないときは、追いだき配管の接続部から空気を吸っているためです。お取付店に修理を依頼してください。
	お湯はり水位が高い・低い、または浴槽からあふれる。	循環アダプタより下に残り湯がある場合にお湯はりすると、その分水位が上昇します。また、循環アダプタより上の残り湯でも、いつもの水位とずれることがあります。	浴槽の水を完全に抜いてからお湯はりすると、通常どおりの水位になります。

故障かな?と思ったら

コード番号が表示されたときの処理方法

コード番号	異常内容	処置・調べていただきたいこと
消 灯 (ランプがつかない)	電源が切れています	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体の漏電遮断器は作動していませんか。 ● ブレーカーは作動していませんか。 電源が入らないときは、お取付け店^{注)}にご連絡ください。
002	浴槽の大きさが計算できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグを差込んだ最初のお湯はりのときに、残り湯がありませんでしたか。また、お湯はり中に、カラんからの落し込みは行っていませんか。 浴槽の水を完全に排水して、再度ふろ自動スイッチを押してください。
032	排水栓忘れ	<ul style="list-style-type: none"> ● 浴槽の排水栓は閉まっていますか。 浴槽の水を完全に排水して、再度ふろ自動スイッチを押してください。
079	湯切れ	<ul style="list-style-type: none"> ● タンク内のお湯がなくなったのでお湯はりができません。わき増し(31ページ、時間帯別電灯契約の場合)を行ってください。
089	タンク内温度低下	<ul style="list-style-type: none"> ● タンク内の湯温が低くなったのでおふろのわきし上げができません。わき増し(時間帯別電灯契約の場合)を行ってください。
152	入水温度高温警告	<ul style="list-style-type: none"> ● 給水配管がソーラーと接続されていませんか。 ソーラーと接続すると、リモコンの設定温度より高い温度で出湯することがあり、大変危険です。シャワーまたはおふろの温度をよく確認してからご使用ください。
161	温水器出湯温度高温警告	<ul style="list-style-type: none"> ● 給水配管がソーラーと接続されていませんか。 ソーラーと接続すると、リモコンの設定温度より高い温度で出湯することがあるので大変危険です。ソーラーと接続はしないでください。
169	タンク内温度異常	<ul style="list-style-type: none"> ● タンク内は満水になっていますか? 給水のしかたについては13・14ページの「使用前の準備」をご覧ください。
172	ふろ温度異常	<ul style="list-style-type: none"> ● 浴槽の湯温が高温になっている可能性があります。やけどのおそれがありますので、入浴を中止してお取付け店^{注)}にご連絡ください。
562	電磁弁異常	<ul style="list-style-type: none"> ● おふろの循環アダプタからお湯が漏れていませんか。ブレーカー及び本体の電源スイッチを「切」(OFF)にしてお取付け店^{注)}にご連絡ください。
572	断水	<ul style="list-style-type: none"> ● 断水ではありませんか。 断水が終わるまでお待ちください。 (断水の確認は最寄りの水道局へお問合せください。)
632	ポンプ異常	<ul style="list-style-type: none"> ● 断水していませんか。 ● 循環アダプタのフィルターにゴミがつまっていますか。 掃除が必要です。 (50ページ) ● わきし上げのとき、浴槽に十分水が入っていますか。 循環アダプタより約10cm上まで水を入れてください。 ● お湯はりのとき、浴槽の排水栓が抜けていませんか。 排水栓を閉めてください。 ● 発泡系・白濁系の入浴剤を使用していませんか。
その他 (故障コードが表示した場合)	安全装置が作動しています	<ul style="list-style-type: none"> ● 機器の診断が必要です。 故障コードを確認の上、ブレーカー及び本体の電源スイッチを「切」(OFF)にして、お取付け店^{注)}にご連絡ください。

注)お取付店の電話番号がリモコンに登録されている場合は登録されている電話番号にご連絡してください。

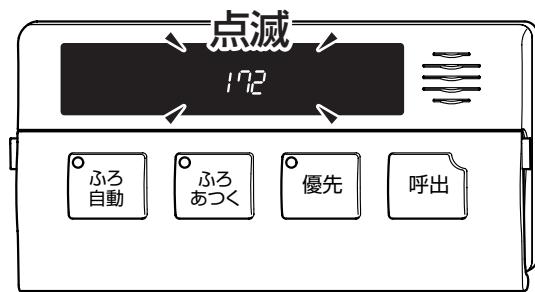
その他の装置が作動したときの処置方法

装置名	作動の原因・処置
漏電安全装置	<ul style="list-style-type: none"> 機器内で漏電したときに通電をストップさせます。 ➡お取付店にご連絡ください。
凍結予防装置	<p>①機器の周辺温度が約4°Cまで低下したとき、機器に内蔵の凍結予防ヒーターで機器内をあたためて凍結を予防します。 周辺温度が約7°Cになるとヒーターは停止します。 ➡電源プラグは抜かないでください。</p> <p>②機器の周辺温度が約4°Cまで低下したとき、機器に内蔵の循環ポンプが浴槽の水を循環させて凍結を予防します。 周辺温度が約7°Cになるとポンプは停止します。 ➡「凍結予防運転あり」に設定している場合のみ作動します。 ※「凍結予防運転の有無の設定方法」(42ページ)の手順で確認してください。 ➡電源プラグは抜かないでください。 浴槽の循環アダプタより10cm以上水がない場合は、約4分後に自動的にポンプを停止します。</p>

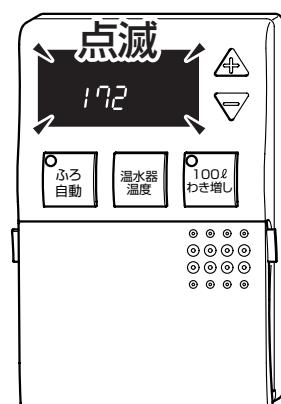
コード番号が出ているときの処置方法

表示例) コード番号172の場合

浴室リモコンでは



台所リモコンでは



コード番号の解除方法

(ふろ自動) • (ふろあつく) • (たっぷり) • (ぬるく) いずれかのスイッチをもう一度押してください。

(コード番号002は ふろ自動 のみ)

それでも、コード番号が表示されるときは、55ページの表示を確認のうえ
処置してください。

故障かな?と思ったら

定期的な部品交換のお願い

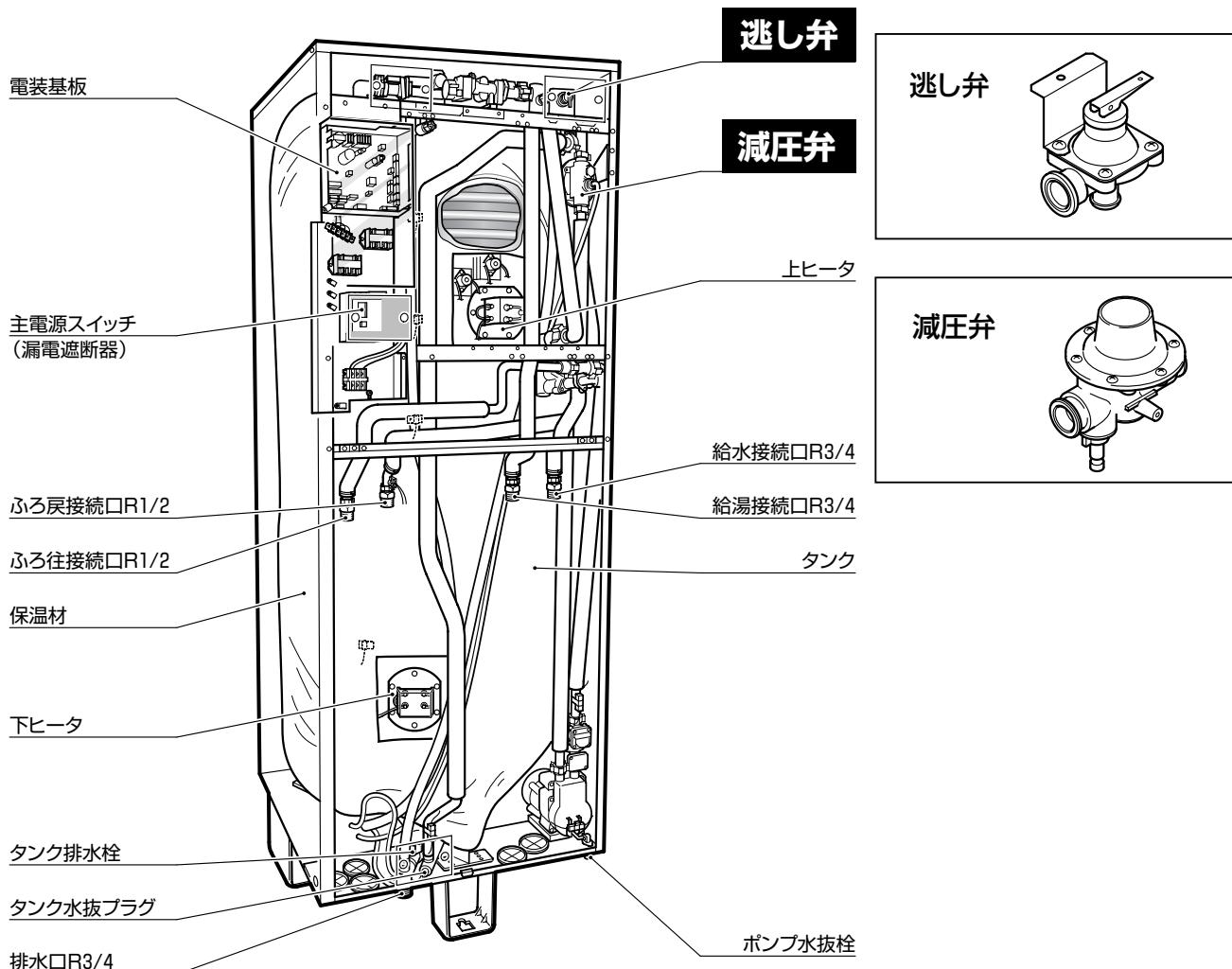
安全・快適にご使用いただくために、以下について定期的に部品の交換が必要です。

減圧弁・逃し弁は劣化により機能の低下や水漏れする可能性がありますので定期的に交換してください。（有料）

部品の寿命における、一般的な交換時期のめやすは以下の通りです。

部品名	交換時期のめやす (お取付け日より)	交換の理由
逃し弁	5年	長期間使用すると、水質・わき上がり温度・使用頻度など使用する条件によって変わりますが、弁体部が水中のスケールによって動かなくなったり、腐食し水漏れしたりすることがあります。
減圧弁		水漏れが起きた場合、大きな被害を与えることがあります。

なお、交換についてはお取付け店にご相談ください。



アフターサービス

点検・修理を依頼される前に「故障かな?と思ったら」(51~56ページ)を見て、もう一度ご確認ください。

保証書(製品に同梱されています。)

- この製品は保証書の内容にしたがって保証されます。必ず「お取付け店・お取付日・扱者印」が記入してあることを確認してください。また、保証書の内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証について

● 保証期間中は

保証書の規定にしたがって、修理をさせていただきます。保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をよくご確認ください。例えば、「取扱説明書・施工説明書、貼り付けラベルなどの注意にしたがっていない場合の不具合など」は有料になります。

● 保証期間を過ぎているときは

修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理を依頼されるときは

- 修理を依頼されるときは、お取り付け店にご相談ください。
- 点検・修理をお申しつけのときは、次のことをお知らせください。
①型式(電気温水器に貼つてある銘板で確認 7ページ)
②不具合現象の内容
③取付年月日
④お名前・住所・電話番号
⑤お宅までの道順

銘板

型式をご確認ください。

深夜電力対応電気温水器

型式

貯湯量

沸上がり温度

最高使用圧力

満水時質量

補修用性能部品の保有期間について

この機器の補修用性能部品を製造打切り後、10年保有しています。

なお、補修用性能部品とは、製品の機能を維持するための部品です。

仕様

製品仕様

型 式			CRE4615U		
名 称			深夜電力対応電気温水器		
タ イ プ			角型配管内蔵型(全自動タイプ)		
設 置 形 態			屋内・屋外・マンション兼用型		
適 用 電 力 制 度			時間帯別電灯契約／深夜電力8時間通電制御兼用型		
貯 湯 量			460ℓ		
電 源	時 間 帯 別 電 灯 契 約 時	主 電 源	単相200V		
		補 助 電 源	(接続不要)		
	深 夜 電 力 契 約 時	主 電 源	深夜電力:単相200V		
		補 助 電 源	昼間電力:単相200V(別売品(CRHE572)の取付けが必要)		
定 消 費 電 力	最 大 消 費 電 力		5.6kW		
	上 部 ヒ ー タ		5.4kW		
	下 部 ヒ ー タ		5.4kW		
	電 制 御 用		約25W		
	格 力 凍結予防ヒータ		約32W		
	循 環 ポ ン プ		95W/124W(50Hz/60Hz)		
最 高 使 用 水 圧			170kPa(逃し弁設定値)		
通 用 使 用 水 圧			150kPa(減圧弁設定値)		
外 形 尺 法			641mm(幅)×693mm(奥行)×2200mm(高さ)		
製 品 質 量(満水質量)			約88(548)kg		
接 続 口	給水・給湯接続口径		R3/4おねじ		
	排水接続口径		R3/4おねじ		
	ふろ接続口径		R1/2おねじ		
制 御 方 法			サーミスタによる自動温度調節		
わき上がり温度			約70℃・約80℃・約90℃・自動(80℃または90℃)		
給 湯 温 度			約35~50℃、60℃		
お 湯 は り 温 度			約35~48℃		
お 湯 は り 量			水位検知(12段階・3.5cm間隔)		
あ つ め 機 能			+2℃追いだき		
た し し 湯			20ℓ		
さ し し 水			10ℓ		
保 温 時 間			4時間(0~6時間可変)		
材 質	ケ 一 ス		塗装鋼板		
	タ ン ク		高耐食フェライト系ステンレス鋼(YUS 190)		
	ヒ ー タ		高耐熱耐食合金シーズヒータ		
安 全 装 置			漏電遮断器・温度過昇防止器		

仕
様

事業者様へのご案内

『労働安全衛生法施行令(労安法)』改正について

1998年12月、『労働安全衛生法』(以下労安法)が改正され、電気温水器のタンク内圧が従来の「100kPa以下」から「200kPa以下」へと緩和され、高圧力型電気温水器の製造販売が認可されました。

労安法の規定において、従来の電気温水器は「簡易ボイラー」に区分されますが、高圧力型電気温水器は「小型ボイラー」に区分されます。

- 簡易ボイラー：労安法適用外、事務所・一般家庭に設置できます。

設置する際には、労働基準監督署への設置届け不要、定期点検の義務もありません。

- 小型ボイラー：今回の改正の対象は、伝熱面積2m²(40kW)以下・水頭圧100kPaを超える200kPa以下の給湯器です。

労安法が適用になり、「事業所」に設置・使用される場合は、「事業者」様が労働安全衛生法令上、「設置報告」・「定期自主検査」・「特別教育」・「事故報告」を実施することが義務付けられています。

ここでいう「事業者」とは、事業を行う者のうち、労働者(賃金を支払われる者)を使用する者をいいます。ただし、同居の親族のみでの事業や事務所に対しては適用されません。

安全にお使いいただくために、必ずお読みになってから次の4つの項目を実施してください。
なお、届出は事業者様が行うことになっています。

【設置報告】

事業者様が高圧力型電気温水器を設置する時は、所轄労働基準監督署長に設置報告書を提出することが義務付けられています。

【定期自主検査】

事業者様が高圧力型電気温水器の取扱いの業務に労働者をつかせるときは、安全のために定期自主点検を実施することが義務付けられています。

【特別教育】

事業者様が高圧力型電気温水器の取扱いの業務に労働者をつかせるときは、安全のため特別教育を実施することが義務付けられています。

【事故報告】

高圧力型電気温水器の事故などが発生したとき、事業者様は事故報告書を所轄労働基準監督署長に提出することが義務付けられています。

事業所設置の際の規定事項

設置報告 適用法令 → ボイラー及び圧力容器安全規則第91条

小型温水ボイラーを設置したときは、設置場所付近の状況や当該ボイラーが構造規格に適合しているかを確認する必要があるので事業者は、小型ボイラー設置報告書に構造図(本体同梱)及び小型ボイラー明細書(本体同梱)ならびに小型ボイラー設置の周囲の状況を示す図面を添えて、所轄労働基準監督署長に提出してください。

小型ボイラーを同一事業所内で移転した場合は、新たに「設置」があったものとみなされ、小型ボイラー設置報告書が必要になります。

定期自主検査 適用法令 → ボイラー及び圧力容器安全規則第94条

事業者様は小型ボイラーの使用を開始した後、1年ごとに1回、定期的に次の項目について自主検査を行ってください。

本体

- ・ 製品本体からの水漏れの有無
- ・ 漏電遮断器の作動状況
- ・ 逃し弁の作動状態および漏れの有無
- ・ タンクの手入れ

配管

- ・ 損傷と漏れの有無

検査方法の詳細は、取扱説明書の45~50ページ「定期的な点検」「日常のお手入れ」を参照してください。
なお、自主検査を行った後は、検査結果を記録用紙に記入し、3年間保存してください。

特別教育 適用法令 → ボイラー及び圧力容器安全規則第92条

事業者様は小型ボイラーの取扱い業務に労働者をつかせるときは、当該労働者に対し、安全のための特別の教育を行ってください。

特別教育の項目

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. ボイラーの構造に関する知識 | 4. 小型ボイラーの運転及び保守 |
| 2. ボイラーの付属品に関する知識 | 5. 小型ボイラーの点検 |
| 3. 関係法令 | |

事業者様は、特別教育を行ったときは、当該特別教育の受講者、科目等の記録を作成して、これを3年間保存してください。なお特別教育の科目全部又は一部について十分な知識及び技能を有していると認められる労働者は、当該科目についての特別教育を省略することができます。当取扱説明書を使用して、製品の取扱説明を行ってください。

事故報告 適用法令 → 労働安全衛生規則第96条

事業者様は小型ボイラーの破損の事故等が発生したときは遅滞なく、様式第22号による報告書を所轄労働基準監督署長に提出してください。

関係法令

- (1) ボイラー及び圧力容器安全規則

設置報告

第91条 1 事業者は、小型ボイラーを設置したときは、遅滞なく、小型ボイラー設置報告書（様式第26号）に機械等検定規則第1条第1項第1号の規定による構造図及び同項第2号の規定による小型ボイラー明細書（同規則第4条の合格の印が押されているものに限る。）ならびに当該小型ボイラーの設置場所の周囲の状況を示す図面を添えて、所轄労働基準監督署長に提出しなければならない。

定期自主検査

第94条 1 事業者は、小型ボイラー又は小型圧力容器について、その使用を開始した後、1年以内ごとに1回、定期に、次の事項について自主検査を行わなければならない。ただし、1年をこえる期間使用しない小型ボイラー又は小型圧力容器の当該使用しない期間においては、この限りではない。

- 2 (1) 小型ボイラーにあっては、ボイラー本体、燃焼装置、自動制御装置及び付属品の損傷又は異常の有無
(2) 小型圧力容器にあっては、本体、ふたの締付けボルト、管及び弁の損傷又は磨耗の有無
3 事業者は、前項ただし書きの小型ボイラー又は小型圧力容器については、その使用を再び開始する際に、同項各号にあげる事項について自主検査を行わなければならない。

事業者は、前2項の自主検査を行ったときは、その結果を記録し、これを3年間保存しなければならない。

特別教育

第92条 1 事業者は、小型ボイラーの取扱いの業務に労働者をつかせるときは、当該労働者に対し、当該業務に関する安全のため特別の教育を行わなければならない。

2 前項の特別の教育は、次の科目について行うものとする。

- | | |
|---|-----------------|
| 1 ボイラーの構造に関する知識 | 4 関係法令 |
| 2 ボイラーの付属品に関する知識 | 5 小型ボイラーの運転及び保守 |
| 3 燃料及び燃焼に関する知識 | 6 小型ボイラーの点検 |
| 3 安衛則第37条及び第38条並びに前2項に定めるもののほか、第1項の特別の教育の実施について必要な事項は、労働大臣が定める。 | |

(2) 労働安全衛生規則

事故報告

第96条 1 事業者は、次の場合は、遅滞なく、様式第22号による報告書を所轄労働基準監督署長に提出しなければならない。（1～2略）

3、小型ボイラー、令第1条5号の第1種圧力容器及び同条7号の第二種圧力容器の破裂の事故が発生したとき（以下略）

高圧力型電気温水器（小型温水ボイラー）に適用される法令として以下のものがあります。

- | | |
|---------------------------|--------------------------------|
| ・労働安全衛生法（昭和47年法律第57号） | ・労働安全衛生規則（昭和47年労働省令第32号） |
| ・労働安全衛生法施行令（昭和47年政令第318号） | ・ボイラー又は圧力容器安全規則（昭和47年労働省令第33号） |